

@MESSAGE

管理者用マニュアル



<http://www.3rsoft.com/jp>

3R
soft

目 次

. @MESSAGE とは	3
. 製品構成	6
2.1 製品概念図	6
2.2 @MESSAGE の使用方法	6
2.3 各画面構成	7
. @MESSAGE のインストールガイド	10
3.1 @MESSAGE のインストール	10
3.2 インストールに関する FAQ	17
. @MESSAGE 管理者マニュアル	26
4.1 管理者メニューの分析	26
4.1.1 ユーザー管理	26
4.1.2 申請者管理	26
4.1.3 申し込みフォーム	28
4.1.4 管理者の環境	29
4.2 @MESSAGE の運営者に必要な事項	36
4.2.1 @MESSAGE の応急復旧方法	36
. @MESSAGE のテンプレートファイル情報	39
5.1 テンプレートファイル情報	39
5.2 @MESSAGE ファイル構造	41
5.3 @MESSAGE メールパック RELEASE	43
5.4 @MESSAGE のアップグレード事項	48
5.5 MAILSTUDIO 2000 PLUS(V3.0)のアップグレード事項	52
5.6 MAILSTUDIO V2.0 からのアップグレード事項	52
5.7 @MESSAGE-MAILSTUDIO V5.0 からのアップグレード事項	54

. @MESSAGE とは

ウェブベースの電子メールサーバープログラム

@MESSAGE

専門知識がなくても誰にでも簡単に使え、
どんな所でも使え、
一台のパソコンで複数のユーザーが使用可能な
ウェブベースのメール サーバー

@MESSAGE は既存のウェブブラウザの MS Internet Explorer や Netscape Navigator をそのまま使用して、ID とパスワードを登録するだけで使えます。さらに一台のパソコンで複数ユーザーのプライバシーを完璧に保護し、自分だけのメールの送受信や管理ができます。

@MESSAGE の特徴

- **誰でも簡単に使える**

ウェブインターフェイス利用でメールの送受信を行うため、ユーザー情報を完璧に保護し、共有パソコンでメールアカウントを毎回変える手間を省きます。また、いろいろな所に設置されているウェブキオスク、ウェブテレビ、又は、海外出張の時には自分宛のメールやメッセージの送受信が可能です。

- **OS、システムに関係なくメール の送受信が可能**

OS、使用機種に関わらずウェブブラウザを使ったインターフェイスなので、メールソフトの使い方を覚える必要がありません。また、電子メールの活用についての講習会を開いたりするような必要もなく、経費と時間の節約ができます。

- **パソコンを持っていなくてもメールの送受信が可能**

自分だけのパソコンを持っていないユーザーも、ウェブブラウザが設置されているパソコンさえあればウェブインターフェイスを利用したメールの送受信と管理が可能です。

@MESSAGE 管理上の特徴

- **メールサーバー管理のための Administration Tool**

マウスクリックだけで、アカウントの追加 / 削除、メールボックスの容量設定、ユーザー環境、プロフィール、加入者検索などができます。

- **E-mail を活用した多様なサービス**

お知らせの配布やレポートの提出、メールニュース、クラブ活動などでの経費の節約でき、学内での多様な活動としてサイバーキャンパスの運営ができます。また、メール友を作ったり、電子メールを使った海外キャンパス、企業と有意義な交流ができます。

在宅教育が可能になり、教授と学生間の 1 対 1 のコミュニケーションが実現できます。

@MESSAGE の機能

- ◇ アドレス帳、ファイル添付機能、署名付機能
- ◇ 掲示板機能
- ◇ スケジューラ機能
- ◇ 個人ファイルの保存機能
- ◇ 外部 POP サーバー接続機能
- ◇ 既存 POP サーバー方式の同時サポート
- ◇ ユーザー定義のメールボックス
- ◇ 予約発信機能、留守番機能
- ◇ メールボックスの容量、ユーザー管理、レベル設定など、ウェブ方式管理ツールの提供
- ◇ 多国語対応（ブラウザ対応言語）
- ◇ テキストメール及び HTML メールを送受信
- ◇ すぐれた安全性および自動バックアップと復旧
- ◇ 基本仕様の cookie 暗号化、選択仕様の SSL 導入時の完璧なセキュリティー
- ◇ 日本語自動エンコードで日本語メールの文字化けを解決

@MESSAGE の使用例

- 学校で

入学時に学校から発行される ID とパスワードを学期中や休み中でもウェブブラウザが設置されているシステムを通じてメールを送受信することができ、宿題の確認 / 提出が簡単に出来ます。特に、パソコンがない学生もインターネットカフェや友達のパソコンでメールの設定をしなくても簡単に使え、メールの使用がさらに便利になります。

- 職場で

入社時に職場から発行される ID とパスワードがあれば勤務中はもちろん、海外出張に出掛けていた場合にもウェブブラウザが設置されているシステムを通じてメールの送受信ができます。メールによる社内報の購読や報告書 / 資料の提出が簡単に出来ます。特に、パソコンを携帯していなくても、インターネットカフェや取引先のパソコンのアカウント設定変更なしに手軽に利用でき、メールの使用がさらに便利になります。

- 顧客に

カード会社やデパートなどで顧客管理として顧客に ID を割り当て請求書や割引チケットなどをメールで送ることで時間と郵送経費を節約でき、顧客はウェブブラウザがあるシステムでいつでもどこでもメールの確認ができます。

@MESSAGE 動作環境

区分	内容
OS	Solaris、HP-UNIX、その他 UNIX、Turbo Linux、RedHat Linux、Laser5、その他の Linux
Web Server	Apache、NCSA、Oracle、その他
Memory	64MB 以上（128MB 以上推奨）
HDD	1 ユーザーあたり 2MB（同時ユーザー）
Protocol	TCP/IP
Client's OS	Windows95、98、2000、Macintosh などの Client PC
Web Browser	Internet Explorer4.x 以上、Netscape Navigator4.x 以上

製品の問い合わせ及び購入先



〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-1 アパライトビル 8 階

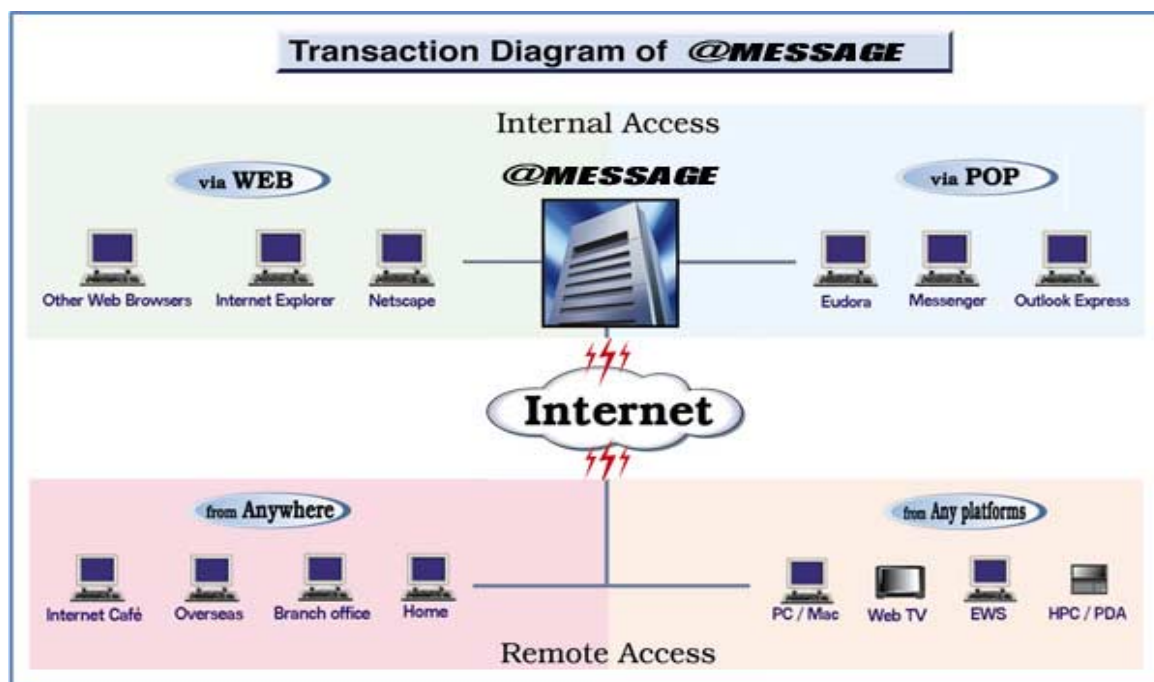
TEL: 03-5330-8851

FAX: 03-5330-8853

E-mail : support-jp@3rsoft.com

製品構成

2.1. 製品概念図



ウェブを通じてメールサーバーに直接接続し、IDとパスワードだけ入力すれば自分のメールを送受信できますので、クライアントにソフトをインストールする必要がありません。

@MESSAGEは既存のメールサーバーにAdd-Onすることや、メール専用サーバーとして使用できます。

時間と場所を気にしないでウェブを使用できる環境ならどこでもメールを送受信でき、携帯電話、PHS、ポケベルなどと連携もオプションをもらい拡張することができます。

既存のPOP方式のメールサーバーと互換し、テキスト形式、HTML形式の電子メールを自由に選択し送受信がすることが出来ます。

メールサーバー管理者のために用意されたメールサーバー管理ツールはウェブ上で操作が容易に行えます。

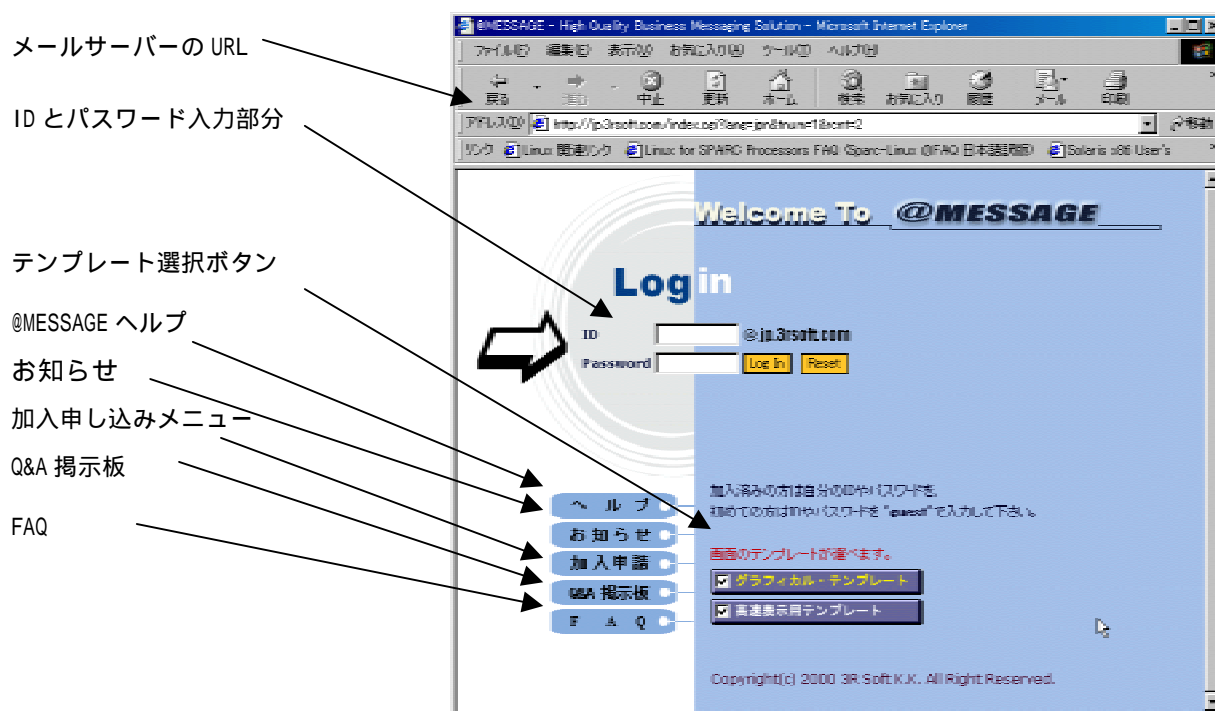
2.2 @MESSAGE の使用方法



ウェブブラウザにメールサーバーのURL（ホームページのアドレス）、ID、パスワードを入力して下さい。

2.3 各画面構成

ログイン画面（ユーザー認証を入力してログイン）



@MESSAGE に接続する最初の画面でユーザーIDとパスワードを入力してユーザー認証をします。ユーザーIDとパスワードは暗号化されたcookieを使用しますので安全です。

ただし、cookieを使用できるようにブラウザを設定してください（デフォルトでは使用可能となっています）。メールを送受信した後は必ず@MESSAGEメニュー内の接続終了をクリックするかブラウザを終了すれば、他の人にメールの内容を見られる心配はありません。

もし、cookieが設定されていない場合は次のようなメッセージが表示されます。ご使用のブラウザのバージョンを参考しながら、cookieを設定し直してください。

<警告>クッキー（Cookie）を設定し直してください。

このメッセージは次の場合に表示されます。

クッキー（Cookie）設定を“無効にする”で設定されている場合

ブラウザのクッキーが”無効にする”で設定されていてログインできません。
オプションのクッキーを”有効にする”に設定してください。

- Microsoft Internet Explorer4.*の場合
表示>インターネットオプション>詳細設定>Cookie項目で「常にCookieを受け入れる」を選択します。
- Microsoft Internet Explorer5.*の場合
ツール>インターネットオプション>セキュリティ>レベルカスタマイズ>のCookie項目で「常にCookieを受け入れる」を選択します。
コンピュータに保存されているCookieの使用許可 「有効にする」
セッションごとのCookieの使用許可 「有効にする」
を選択してください。
- Netscape Navigator
編集>設定>詳細>Cookie項目で 「すべてのCookieを受け付ける」を選択してください。

テンプレートを選択してログインすれば自動的にメールチェックを行い、他のPOPサーバー接続機能を設定した場合、そのPOPサーバーへの接続状況と新着メール数と転送状況を表示し、自動的に受信トレイに転送します。

ログイン画面(メインメニューとログイン情報を表示します)

ログインしますと自動的に新着メールの情報や本日の日程、最近のお知らせ等の情報が表示され、自分に割り当てられたメールサーバーの容量や残り容量などの情報も表示します。また他のPOPサーバーとの接続状況とメールの総数、送受信の状況なども表示します。

The screenshot displays the @MESSAGE web application interface. The left sidebar contains a navigation menu with options like 'メールの確認' (Check mail), 'メールの作成' (Compose mail), '受信トレイ' (Inbox), '送信トレイ' (Outbox), 'ごみ箱' (Trash), '下書き' (Drafts), 'メールボックス' (Mailbox), 'アドレス帳' (Address book), 'スケジュール' (Schedule), '個人ファイルの管理' (Manage personal files), 'オプション' (Options), '環境設定' (Environment settings), 'メールボックス管理' (Mailbox management), '外部メール管理' (External mail management), 'フィルタリング設定' (Filtering settings), '迷惑メール拒否' (Spam rejection), '留守番設定' (Voicemail settings), '基本管理' (Basic management), '個人情報管理' (Personal information management), 'パスワード変更' (Change password), '表示欄' (Display fields), 'ユーザ検索' (User search), and '接続終了' (End connection).

The main content area shows the following sections:

- 新着メールの情報** (New mail information): A message icon and the text '新着メールはありません。' (No new mail).
- 本日の日程** (Today's schedule): A table listing events for 2000/11/29 (Wednesday).

日時	2000/11/29 (水) 12:42pm
→ 営業会議	今日 09:00am から 2000/11/29 (水) 10:00am まで
→ 佐野コンサルタント	今日 11:00am から 2000/11/29 (水) 12:00pm まで
→ マーケティング戦略会議	今日 03:00pm から 2000/11/29 (水) 04:00pm まで
→ 飲み会	今日 06:00pm から 2000/11/29 (水) 07:00pm まで
- お知らせ** (Announcements): A link to '過去のお知らせのリスト' (List of past announcements).

→ サーバー移行のお知らせ	2000/11/29 (水) 12:42pm	0回
→ サブドメインの変更のお知らせ	2000/11/29 (水) 12:41pm	0回
- 最近ログインしたユーザの情報** (Information of recently logged in users):

ユーザ	名前/ID	接続時間	接続終了時間
test1	test1	2000/11/29 (水) 12:41pm	2000/11/29 (水) 12:42pm
test2	test2	2000/11/29 (水) 12:42pm	
- メールボックスの容量情報** (Mailbox capacity information):

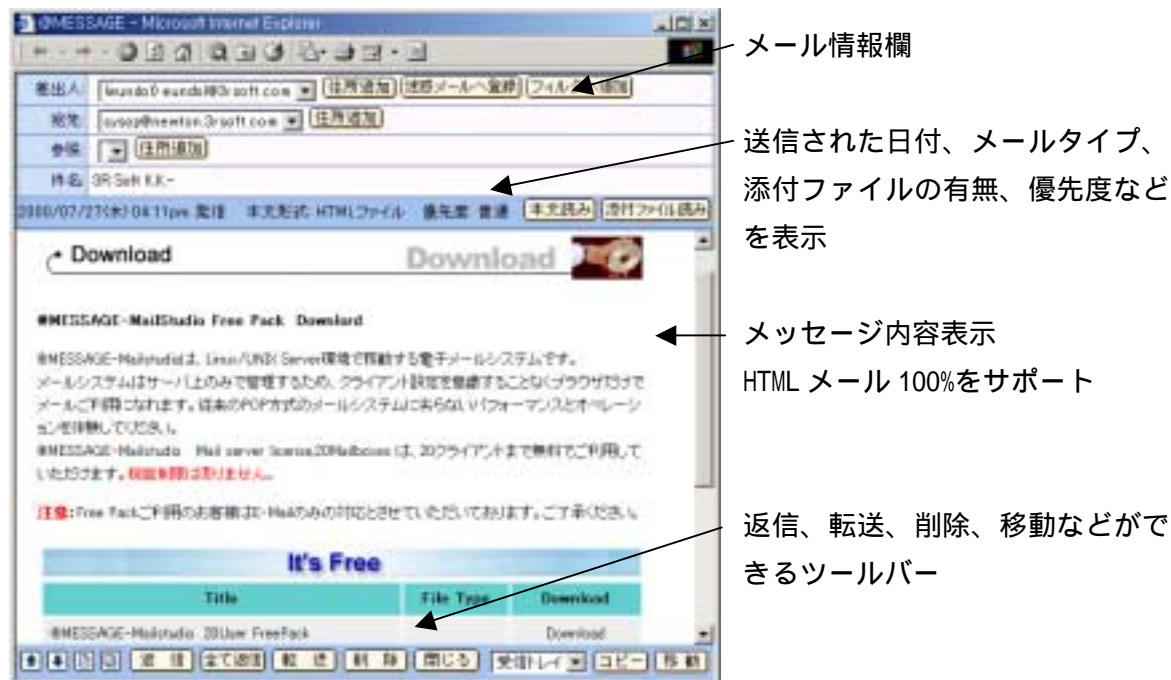
割り当て容量	10.0MB
総使用量	93KB (0.1%)
残り容量	10.0MB (99.9%)
- test1さんのログインの情報** (test1's login information):

ログイン時間	2000/11/29 (水) 12:42pm
ログイン回数	20回
接続に使われたIP	192.168.0.222
- 本日のバイオリズム** (Today's biorhythm): A line graph showing biorhythm levels for 11/29, 11/30, and 12/01. Below the graph, it shows '体調' (Physical condition) as blue, '感情' (Emotion) as red, and '知性' (Intellect) as green. The birth date is listed as '生年月日: 1972年1月1日'.

受信トレイ（受信メールのリストを表示し、メインメニューとヘルプ、メールの表示、検索ができる画面）



○ メッセージ表示画面



メッセージ表示画面にメールの差出人、受取人、件名、日付、添付ファイルが表示されます。下段のツールバーを使用して、返信、転送、削除、移動、登録情報、メール本文を見ることが可能です。

. @MESSAGE のインストールガイド

- ▶ @MESSAGE を mail.3rsoft.com というメールサーバーにインストールしてウェブメールをサービスする方法を説明します。(他のサイトにインストールする場合はここで説明する方法を参考にして同じようにインストールして下さい)
- ▶ @MESSAGE と Outlook Express と Netscape Messenger を同時に使用するユーザーのための POP3 の設定方法を説明します。
- ▶ @MESSAGE をインストールする時の FAQ。

3.1 @MESSAGE のインストール

- @MESSAGE を mail.3rsoft.com とのメールサーバーにインストールしてウェブメールサービスの方法を説明します。(他のサイトにインストールする場合はここで説明する方法を参考にして同じようにインストールして下さい。)
- @MESSAGE と Outlook Explorer や Netscape Messenger を同時に使うユーザーのための POP3 の設定を説明します。
- @MESSAGE をインストールするときの FAQ。

[1] @MESSAGE の解凍

@MESSAGE をインストールするディレクトリーに次のように解凍して下さい。

tar.Z や tar.gz の場合

```
Uncompress atmessage*.tar.Z [Enter]
tar xvf atmessage*.tar [Enter]

または次のように入力しても解凍できます。
zcat atmessage*.tar.Z | tar xvf- [Enter]
```

rpm の場合

```
# rpm -ivh atmessage-5.0-1jp.i386.rpm [Enter]
atmessage #####

# cd /home/
```

解凍が終わると “ atmessage-5.0 ” というディレクトリーが作成され、そのディレクトリーの

下に関連ディレクトリーとファイルが登録されます。

[2] @MESSAGE のインストール

@MESSAGE をインストールしたディレクトリーで setup ファイルを実行して下さい。setup プログラムの指示通りセットアップに必要な項目を入力し、右側に表示される推奨値を参考にすれば簡単にセットアップできます。セットアップを中止したい場合は推奨値に 'Q' と入力してください。

注意：インストール画面はすべて Shift-JIS コードで行われます。(TeraTerm、telnet のご使用の場合はモードを変更してインストールしてください。)

```
./setup [Enter]
```

setup を実行すると、一番初めはどの言語で@MESSAGE をインストールするかを選択します。@MESSAGE は 2 ケ国語のいずれかを選択できます。日本語でセットアップするときは 1 番を選択して下さい。

```
Welcome to @MESSAGE Setup

Copyright(c) 2000, 3R Soft K. K. All right reserved.

[*] Select a language to use for setup

[1]-Japanese [2]-English [Q]-Quit
```

ドメイン名がセッティングされていないため、次のようにセッティングしてください。

例) domainname 3rsoft.com <= 3rsoft.com がドメイン名にセッティングされる

上記のようにメッセージが表示されるのは、domainname というシステム環境変数にドメイン名が設定されていないためです。特に Linux では Linux のインストール特性上、ドメイン名はホスト名側に FQDN として指定し、ドメイン名として指定されないためこのような問題が発生します。したがって、Linux の hostname にはホスト名だけを指定して、システム起動時にドメイン名が指定されるよう /etc/rc.d/rc.local ファイルに現在のコンソールが指定されるようにして下さい。

ドメイン名が 3rsoft.com ならばシェル上で domainname コマンドを使い次のようにして下さい。

```
#domainname 3rsoft.com [Enter]
#./setup [Enter]
```

ドメイン名を指定して、もう一度セットアップして下さい。

[!] パスワードが shadow ファイルで管理されていないため将来的にセキュリティの問題が発生する可能性があります。なお、@MESSAGE は shadow でパスワードが管理されないでインストールすることさえできません。

上記のようなメッセージは@MESSAGE の Linux 用のパッケージでのユーザーのパスワードを Shadow ファイルとして管理するためのもので、現在のユーザーのパスワードが Shadow ファイルではない場合には Shadow ファイルとして管理して下さい。

- (1) このサーバーでは現在、ウェブサーバーが動作しています。@MESSAGE をインストールして使用する為には、現在使用中のウェブサーバーを終了しなければなりません。
- (2) SMTP サーバーが正常に動作していないので@MESSAGE のインストール後、SMTP サーバーをインストールすれば@MESSAGE が正常に動作します。
- (3) POP3 サーバーが正常に動作していないので@MESSAGE のインストール後 POP3 サーバーをインストールすれば@MESSAGE と POP サービスを同時に受けることができます。

もし上記のような警告メッセージが表示された場合には、セットアップ後に次のようにして下さい。

- (1) Linux や他の Unix の場合、最近では基本的にウェブサーバーが搭載されています。このウェブサーバーが基本ポートの 80 番を通じサービスしていれば、別のポートを使ってサービスしていなければならない、サービスしていなくてデフォルトでポートだけ占有していればウェブサーバーを終了して@MESSAGE ウェブサーバーが基本ポートの 80 番を通じてサービスがされるようにしなければなりません。

@MESSAGE の中には@MESSAGE だけのための Apache ウェブサーバーが特別に提供されていて、一般的に公開されている Apache サーバーとは若干異なってコンパイルされています。これは Apache ウェブサーバーが Linux システムにある useradd と userdel を使用できるようにしたものです。

- (2) 基本的にメールサーバーに sendmail のような SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) サーバーがインストールされていてはじめて@MESSAGE がメールを送受信できるようにな

ります。@MESSAGE が使用するデフォルト SMTP サーバーはローカル SMTP サーバーに合わせているために、ローカル SMTP サーバーが動作しなければユーザーが別の SMTP サーバーをインストールしなければならないので、慣れていないユーザーはメールを送ることができなくなる恐れがあります。

したがって、ローカル SMTP サーバーが動作しない場合には動作するようにして下さい。

- (3) POP3(Post Office Protocol)はサーバーにあるメールをパソコンのようなクライアントにメールを送るプロトコルです。@MESSAGE や Outlook Express のようなメールプログラムを使用したい場合は、POP3 サーバーがサーバーにインストールされていなければなりません。

```
[*] ライセンスキーを入力してください。(デモユーザー[Enter]) [Q] - 終了
# _____
[*] 必要なライセンス数を入力してください。 [Q] - 終了
# _____
```

ライセンスキーは@MESSAGE を正式版として動作させるために使用するキーです。このキーを使用しないでそのままエンターを押すと@MESSAGE はデモバージョンとして動作します。デモバージョンの場合、使用可能なユーザー数が 20 人で、運営者がユーザーに送るメールの署名が変更できないなど、機能上いくつかの制限があります。

ライセンスキーに関する問い合わせは 3R Soft の support-jp@3rsoft.comにメールを送るか電話(03-5330-8851)で問い合わせをして下さい。

[STEP 1]はサーバーのホスト名を入力して下さい。

```
[STEP 1] ホスト名を入力してください。 推奨値) mail
# mail_____
```

ホスト名はシェル上でhostnameと入力して調べるか、/etc/hostsを参照して下さい。または、@MESSAGE のセットアップで推奨する値を入力して下さい。Linux の場合、セットアップ時ホスト名を FQDN (Full Qualified Domain Name) で決める場合がありますが、ドメイン名が含まれたホスト名を指定すると@MESSAGE が動作しません。必ず、ホスト名だけを指定して下さい。

[STEP 2]はサーバーのドメイン名を入力して下さい。

```
[STEP 2] ドメイン名を入力。      推奨値) 3rsoft.com      [Q] - 終了
# 3rsoft.com
```

ドメイン名はシェル上で domainname と入力して調べてください。Linux の場合 domainname が入力されず @MESSAGE のインストールが取り消される場合があります。この場合には再度 ./setup を実行して下さい。

Domainname ホストドメイン名 [Enter]

[STEP1]と[STEP2]では入力項目を参照してサーバーネームを作ります。例えば、ホスト名を mail にしてドメイン名を 3rsoft.com で入力すれば、サーバーネームは mail.3rsoft.com になります。

[STEP 3]はこのメールアドレスに使用されるドメイン名を決めます。

```
[STEP 3] E-Mail アドレスに使われるサーバー名を入力。      推奨値)
“userid@3rsoft.com” or “userid@mail.3rsoft.com” [Q] - 終了
# userid@3rsoft.com _____
```

1つのサーバーがいくつかのサーバーネームになることがあります。このような場合は STEP 3 でユーザーのメールアドレスから使用されるサーバーネームを指定して下さい。

[STEP 4]は@MESSAGE をインストールするディレクトリーを入力して下さい。

```
[STEP 4] @MESSAGE ルートディレクトリーを入力      推奨値)
/home/atmessage* [Q] - 終了
# /home/atmessage* _____
```

現在のバージョンでは、@MESSAGE を解凍するディレクトリーをインストールするディレクトリーに指定しなければなりません。例えば、ルートディレクトリーの下で

```
zcat atmessage*.tar.Z | tar xvf -
```

を実行すると、 /atmessage* が作られます。この場合 @MESSAGE をインストールするディレクトリーは /atmessage* を必ず指定して下さい([Enter]キー入力)。

注意

他のディレクトリーを指定する場合には cp コマンドを使用して、@MESSAGE をあらかじめコピーして下さい。

[STEP 5]は@MESSAGE をインストールしたサイトに接続した時に表示するデフォルトテンプレートを指定して下さい。

[STEP 5] ユーザーインターフェイスに使用されるデフォルトテンプレートを選択して下さい

[Q] - 終了

1) JPN1 2) JPN3 # 1

テンプレートはユーザーインターフェイスの選択用パッケージで、このテンプレートを使用してユーザーの好みに合うインターフェイスの選択ができます。テンプレートは各国の言語別にその言語に合うテンプレートが用意されています。日本語の場合、JPN で始まり、JPN の次に表われる数字はテンプレート番号です。3R Soft で用意している多様なテンプレートをインストールすれば、いつでもユーザーの好みに合うインターフェイスが使用できます。

[STEP 6]は@MESSAGE がウェブ上でサービスする基本ポートを指定して下さい。

[STEP 6] @MESSAGE のウェブサービスポート番号を入力して下さい。

推奨値)80 [Q] - 終了

80 _____

一般的にウェブサーバーが使用するウェブサービスポートは 80 番であり、このポートを通じてサービスするウェブページは、ユーザーが URL 上に特定のポートを指定しなくても接続できます。

もし自分が運営しているサーバーのウェブサービスが 80 番ポートを通じてサービスしていて、@MESSAGE も同じサーバーで運営したいならば、@MESSAGE をサービスするポートを別のポートに指定しなければなりません。ただし、@MESSAGE にある Apache サーバーの環境設定値をうまく設定できるならば@MESSAGE と既存ホームページを一つのウェブサーバーとしてサービスできます。

[STEP 7]は@MESSAGE の管理者のための管理用ウェブサービスポートを指定して下さい。

```
[STEP 7] @MESSAGE 管理者用のウェブサービスポート番号を入力して下さい。推奨値)
8080 [Q] - 終了
# 8080
```

この管理者用サーバーは管理者 ID(sysop)だけが使用でき、このサーバーを利用してユーザー管理とユーザー別のオプション設定ができます。

[STEP 8]は@MESSAGE のシステム管理者の ID を指定して下さい。

```
[STEP 8]システム管理者の ID を入力してください。推奨値)sysop or admin [Q]-終了
# sysop_____
```

ここで指定するのは管理者用の ID で、この ID を持ったシステム管理者がユーザーの管理とユーザー別のオプションの設定など、@MESSAGE 全般の管理ができます。

[Final] 最後は管理者 ID(sysop)のパスワードを入力してください。

```
[FINAL] システム管理者(sysop)のパスワードを入力。 [Q] - 終了
New password : *****
Confirm new password : *****
```

@MESSAGE の管理者 ID は sysop(system operator)であり sysop は@MESSAGE のユーザー管理からテンプレート(ユーザーインターフェイス)管理、ディスク管理、ユーザーファンクションを制限する機能を実行できる ID です。

sysop ID で接続すれば sysop だけが使用できる管理者メニューが左側に現れ、そのメニューを使ってシステムを運営できます。インストールが終了するとログイン画面が表示されます。ID を sysop でパスワードはここで指定したパスワードを入力すれば@MESSAGE にログインできます。

注意

@MESSAGE は Unix にある passwd ファイルとお互いに連動しているシステムです。したがってアカウント作成時の passwd ファイルにユーザーID とパスワードを保存します。sysop アカウントは Unix の root とほぼ同じ権限を持っています。アカウント作成時デフォルトで telnet と ftp の機能を制限しています。システムの重要な作業は sysopID を使って行いますので sysopID は厳重な管理が必要です。

< 参 考 >

RedHat Linux 5.0 以後では、OS のインストールのとき MD5 でパスワードを指定するのを default として提示しますのでユーザーは MD5 でパスワードを管理できるようになります。@MESSAGE では MD5 として暗号化されたパスワードをサポートしないためシステムのパスワードを連動させるとき必ず MD5 を disable させて、既存の登録済みのユーザーも MD5 でないパスワードに変更しなくてはなりません。

[3] @MESSAGE のスタート

@MESSAGE がインストールされているディレクトリーで start スクリプトを実行すれば、次のように@MESSAGE が実行されます。

```
#./start
Starting @MESSAGE Server...
```

[4] @MESSAGE に接続

インストールの設定例を前提として、Netscape や Internet Explorer で@MESSAGE に接続する場合は、各ブラウザの Location に次のように入力すればいいです。

```
http://mail.3rsoft.com
```

http://mail.3rsoft.comに接続すれば最初にログインページが画面に表示されます。管理者 ID を入力するフィールドには sysop、パスワードを入力するフィールドには管理者 ID を入力すれば@MESSAGE にログインできます。

3.2 インストールに関する FAQ

システム起動時に@MESSAGE を自動実行させる方法

[1] Solaris の場合

Solaris の場合システムの起動時に自動実行させるスクリプトは rc?で、これは/etc ディレク

トリーの下の rc?.d というディレクトリーの中にあり、このスクリプトの実行優先順位は数値で決まります。

また、rc?.dディレクトリーにあるファイルは/etc/init.d ディレクトリーにあるファイルとシンボリックリンクになっています。

@MESSAGEをシステム起動時に自動実行させるスクリプトが必要です。

順を追って説明します。

(1) /etc/init.dディレクトリーに@MESSAGEというスクリプトファイルを作ります。

@MESSAGEインストールディレクトリーが/wwwならばviエディターで/etc/init.d ディレクトリーの下に@MESSAGEというスクリプトを作ります。

ファイル名 : /etc/init.d/atmessage

```
#!/sbin/sh
#
echo "Starting @MESSAGE Server"
echo
/home/atmessage*/start
```

このファイルを作った後、スクリプトファイルが実行権利を持つようにパーミッションを設定します。

```
chmod 700 /etc/init.d/atmessage[Enter]
```

(2) /etc/rc2.d ディレクトリーに移動し、/etc/init.d/atmessageにシンボリックリンクをかけます。

```
cd /etc/rc2.d [Enter]
ln -s ../init.d/atmessage S01atmessage [Enter]
```

ここまで行くと、システムを起動する時に@MESSAGEが自動で実行されます。参考に、リンク名 Sはプログラムを実行するスクリプトを意味し、Kで始まれば終了するスクリプトを意味します。そして数値は実行優先順位を表します。

rcで指定できる番号は0から6までですが、通常/etc/rc2.d/にだけリンクしても問題ありません。もしシングルブーティングで@MESSAGEを動作させる場合は/etc/rc1.dにもリンクさせてください。下の表はRun Level1とRun Level2の違いを簡略に表したものです。

Run Level1	システム管理者モードで最も基本的なカーネルプロセスだけが作動し、管理者がconsoleからのみログインできる
Run Level2	マルチユーザーモードで一般的にシステムがサービスされる状態

もしこのような方法がわずらわしければ、/etc/rc2.d/S69inetというスクリプトファイルの最後に次のように追加することで起動時に実行させることができます。

```
/home/atmessage/start
```

[2] RedHat Linux 6.xの場合

RedHat LinuxでもSolarisと同様に設定できますが、異なるのは/etc/init.dではなく/etc/rc.d/init.dに@MESSAGEを作ることと、/etc/rc2.dではなく/etc/rc.d/rc2.d/に@MESSAGEをシンボリックリンクさせることです。

RedHat Linuxの場合/etc/rc.d/rc.localというファイルに@MESSAGEを実行する内容が入っていれば、SolarisでのS69inetに追加する方法のように非常に簡単にシステム起動時の自動実行できます。この方法を次の順で説明します。

(1) @MESSAGEだけ単独で実行させる場合1段階を実行する。

LinuxのsetupプログラムでSystem Service欄にmshttpdがチェックされているか確認し、チェックされていればチェック設定を解除して下さい。

```
/home/atmessage*/start
```

(2) /etc/rc.d/rc.localファイルに次のような内容を追加して下さい。

```
/home/atmessage*/start
```

@MESSAGEが表示されず別のウェブサーバーが表示される場合

既存のウェブサーバーと@MESSAGEが同じウェブサービスポートを使用し競合する場合にこのような問題が発生します。このような場合には既存のウェブサーバーを終了させるか、@MESSAGEを別のサービスポートでサービスされるように再度セットアップして下さい。

既存ウェブサーバーが実行中であるかテストする方法

```
telnet localhost 80 [Enter]
```

接続できれば実行中です。

@MESSAGEをLinux起動時に実行する場合には、Linux setupでSystem Serviceをセットアップするところでスタート時にmshttpdを実行できないようdisableさせて下さい。

@MESSAGEのログインページが表示しない場合

[1] “http://サーバーネーム” に接続できないというメッセージがでる場合

現在指定したサーバーネームがDNSに登録されているか、もしくはMXが設定されているかを確認して下さい。

[2]Permission deniedがでる場合

@MESSAGEが設置された上位ディレクトリーがsysopの権限でアクセスできるか調べて下さい。例えば、@MESSAGEが/usr/local/@MESSAGEにインストールされていれば、/usr/local/@MESSAGEをsysopIDでアクセスできます。ところが、/usr/localの所有権がrootにあり、rootしかアクセスできない場合には、次のようにsysopもアクセスできるようにして下さい。

```
chmod 755 /usr/local [Enter]
```

sysopというIDが/usr/local/@MESSAGEに正常にアクセスできるのか調べる方法はUnixのsuと

いうコマンドを使って下さい。

su sysopを入力するとroot権限からsysop権限に変わります。このsysop権限で@MESSAGEがインストールされたディレクトリーにcdコマンドでアクセスできればアクセス権限のために発生するエラーはないということが確認できます。

[3] @MESSAGEが正常にインストールされなかった場合

@MESSAGEのインストールが正常終了できなかった場合、Apache configurationファイルが正常に生成されず、所有権問題が発生します。このような場合には、もう一度セットアップして下さい。通常、@MESSAGEを/bin、/etc、/sbin、/var、/boot、/proc、/lib、/devのディレクトリーの下にはインストールできないようになっています。

インストール完了後、@MESSAGEは正常動作するがメールの送受信ができない場合

sendmail8.9.xバージョンを基準に、次のような設定をして下さい。Sendmail8.9.xバージョンは <http://www.sendmail.org>でダウンロードでき、[3R Soft](#)からPOP3サーバーとsendmailが含まれたメールパックが無料でダウンロードできます。メールパックをインストールする方法は後で説明します。

[1] /etc/sendmail.cwにメールアドレスのサーバーネームを登録して下さい。

id@3rsoft.comをメールアドレスとして使用していればsendmail.cwに 3rsoft.comだけを登録して下さい。

[2] /etc/sendmail.cfからCwにメールアドレスのサーバーネームを登録して下さい。

id@3rsoft.comをメールアドレスとして使用していればCwには3rsoft.comだけを登録して下さい。

[3] /etc/relay-domainsにリレーを許可するドメインを入力して下さい。

3rsoft.comから送るすべてのメールをリレーしたければ3rsoft.comを入力し、IPアドレスをリレーしようとする場合は該当するIPアドレスの3文字を前に入力して下さい。例えば、3R SoftのClass IPは210.102.52ですが、これをrelay-domainに登録しておけば該当クラスから送られるメールはリレーを許可するようになります。

POP3と@MESSAGEを同時に使用したい場合

[1] @MESSAGEパッケージに同梱されているmspop3dを利用して下さい。

```
#cd /home/atmessage*/option_pack [Enter]
#cp mspop3d /usr/sbin/mspop3d [Enter]
#cp msmailer /usr/bin/msmailer [Enter]
#cp mspassd ../ [Enter]
```

[2] /etc/inetd.confと/etc/servicesファイルに次の内容を追加して下さい。

(1) /etc/inetd.confファイルに登録する内容

Solarisの場合

pop-3	stream	tcp	nowait	root	/usr/sbin/mspop3d mspop3d
mspassd	stream	tcp	nowait	root	/usr/sbin/mspassd mspassd

RedHat Linuxの場合

pop-3	stream	tcp	nowait	root	/usr/sbin/mspop3d mspop3d
mspassd	stream	tcp	nowait	root	/usr/sbin/mspassd mspassd

(2) /etc/servicesファイルに登録する内容

pop-3	110/tcp
mspassd	106/tcp

[3段階] inetdデーモンを再度実行してください。

RedHat Linuxの場合

ps -ax grep inetd [Enter]				
263	?	S	0:00	inetd

Solarisの場合

```
ps -ef | grep inetd [Enter]
root 263 1 0 15:38:15 ? 0:00 /usr/sbin/inetd -s
kill -HUP 263 [Enter]
```

[4 段階] WEB でシステム管理者としてログインして「管理者メニュー」の「システム設定」の“システムパスワードの連動部分”のチェック・ボタンをはずして保存して下さい。

システム設定

Powerful Web-based E-mail Server Solution

● ディスク容量: 14.2GB 残りディスク容量: 11.3GB(16%使用) ユーザ: 85/10000

メールボックス 基本割当容量	10 MB	外部トレイ 登録限度個数	10 個まで
ユーザ登録申し込みの処理方法	<input checked="" type="radio"/> 申し込み後すぐ加入 <input type="radio"/> 申し込み後管理者が加入処理 <input type="checkbox"/> ID 大文字小文字許可	一度に送信できるメール数	99 通
添付ファイルサイズの制限	10 MBまで	添付ファイル制限個数	5 個まで
削除済みメール削除日	10 日前のメール自動削除	スプールサイズ制限	50 MBまで
転送サービス対応有無	<input checked="" type="checkbox"/>	POP3サービス対応有無	<input checked="" type="checkbox"/>
認証方法	<input checked="" type="checkbox"/> システムパスワードとの連動 <input type="checkbox"/> Default Shell /bin/noshell		
Default Encodingの設定	メールの題名 <input type="radio"/> 8ビット <input type="radio"/> Quoted Printable <input checked="" type="radio"/> BASE 64 メールの本文 <input type="radio"/> 8ビット <input type="radio"/> Quoted Printable <input checked="" type="radio"/> BASE 64		
認証Cookie形式	<input type="radio"/> Persistent Cookie <input checked="" type="radio"/> Session Cookie		
ログイン時に表示するお知らせのページのサイズ	10	ログイン時に表示するユーザのログインの情報時間	999 分
メール発信情報の保存	<input checked="" type="checkbox"/>	メール受信情報の保存	<input checked="" type="checkbox"/>
加入歓迎メッセージ	題名 ようこそ、@MESSAGEへ！ 加入歓迎メッセージ有無 <input checked="" type="checkbox"/> 本文 @MESSAGE-MailStudioへ登録していただき、ありがとうございます。 URL: http://www.3rsoft.com/jp/		
管理者署名	Do you know @MESSAGE?? Provided by 3R Soft K.K. URL: http://www.3rsoft.com/jp/		
加入時の歓迎メール及び署名の処理	<input checked="" type="checkbox"/> 個別テンプレートで処理		

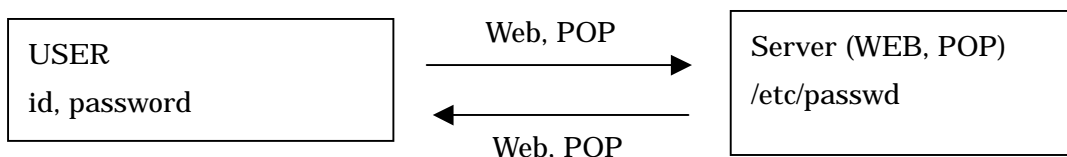
以上の設定でメールの送受信テストを行ってください。

ローカルメーラーへのサービス

1. 従来的なシステム・パスワード連動方式

システム id と password との連動方式ですので、ユーザー側がメーラーを利用している間には継続的に認証を維持し続ける必要があります。

メールでの何かのアクセスする度に、システム・パスワードのデモンがアクションせざるを得ず、もし、ユーザー id と password が盗まれたら、サーバーのセキュリティにも影響しかねません。



2. POP サービスにおける@MESSAGE の連動方式

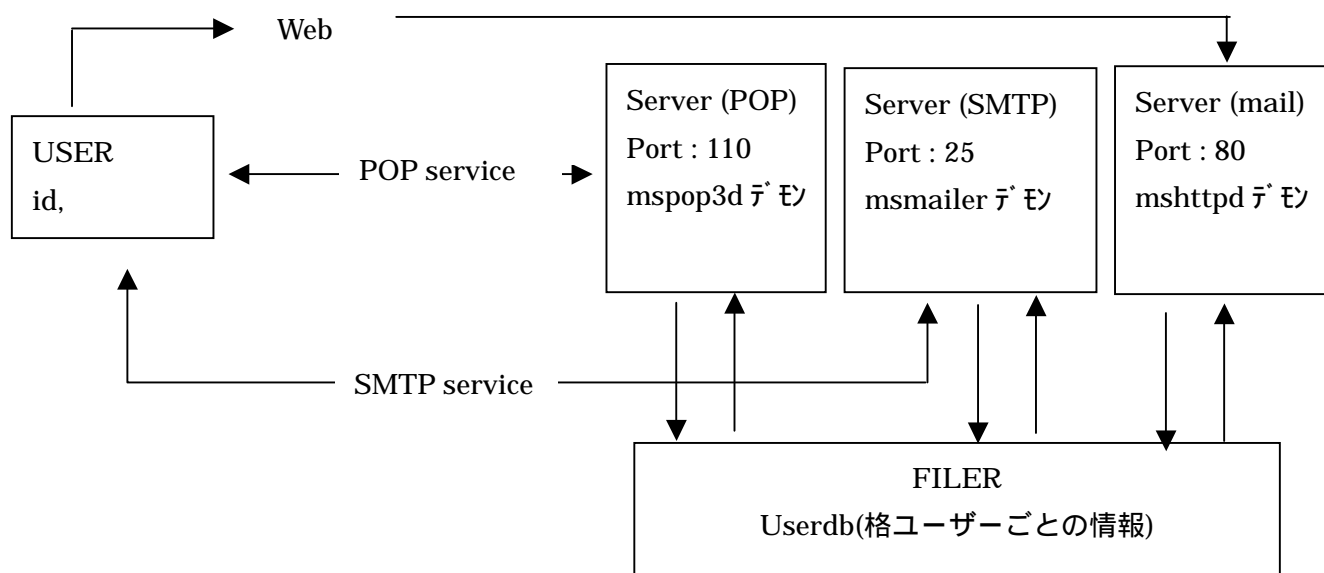
①従来のシステム・パスワード連動方式

: 上記同様

②@MESSAGE の独自のパスワード管理方式

: システム・パスワードと連動せず、独自のファイラー方式で管理します。

しかも、POP サービスを行う場合にも、システム・パスワードを問い合わせるのではなく、@MESSAGE 内部のメールユーザーDB へ直接アクセスし、必要なメールデータのみクライアントのメーラーに渡す役割をします。これで、余計なシステム・パスワードデモンを動かさなくても純粋な POP サービスができますので、負荷及びセキュリティ面においてもシステム・パスワード方式と比べて純粋な POP サービスが行われます。



参考：QPOPPE、IMAP、SENDMAILプログラムの異なる点の要約

SENDMAILはメール転送エージェントで、あるシステムから別のシステムにメールを送信する機能です。SENDMAILは一般的なインターネットメールルーティング機能で、多様で柔軟な環境設定機能を提供しています。

IMAPはPOP3とIMAPメールプロトコルのためのサーバープログラムです。POP3プロトコルはユーザーがメールを受信しようとする時、メールサーバーにあるメールをユーザーのパソコンに送信する機能です。一方、IMAP4プロトコルはPOP3の機能を全て持っていて、ユーザーがメールをパソコンに転送しないで遠隔操作でメールサーバーにあるメールを読める機能を提供しています。

QPOPPEはOutlook ExpressやNetscape Messengerのようなメールクライアントからインターネットメールをダウンロードする時に使用されるPOP3プロトコルをサポートするサーバープログラムです。QPOPPEはSENDMAILのようなSMTPサーバー機能をサポートしない単純なPOP3サーバーです。

@MESSAGE の技術サポートを受けたい場合

技術サポート : support-jp@jp.3rsoft.com

3 RSoft Q&A 掲示板 : <http://www.3rsoft.com/jp>

. @MESSAGE 管理者マニュアル

4.1 管理者メニューの分析

4.1.1 ユーザー管理

管理者メニューの中にあるユーザー管理とは、ユーザー登録、検索、修正、削除、検索などが実行できるメニューです。

ユーザー登録時に ID とパスワードは Unix の/etc/passwd ファイルに登録され、shadow ファイルを使用する Unix システムではパスワードが shadow に登録されます。そして、付加情報は@MESSAGE のユーザーDB に保存されます。

それでは、ユーザー管理で使える機能について詳しく調べてみましょう。

1) ユーザー登録

新しいユーザーを登録する方法は次のとおりです。

1. [ユーザー登録]ボタンをクリック（ユーザー管理画面の右下にあります）
2. ユーザーの ID、パスワード、付加情報などを入力

新しいユーザーが登録されると、ユーザーのユーザーメールボックス容量は管理オプションで指定しておいた基本容量で指定され、追加割り当て量を指定すれば基本割り当て量に追加割り当て量が足され保存されます。

例えば、基本割り当て量が 3MB で追加割り当て量が 7MB ならば、そのユーザーに割り当てられたユーザーメールボックスの総量は 10MB になります。

2) ユーザー検索

ユーザーの検索方法は、次のとおりです。

1. 5つの検索項目中1つ以上をチェックボックスで指定する
2. 検索語欄に検索項目に該当する検索語を入力する
3. 検索開始を押す

検索されたユーザーは、ID、名前、部署 / 学科、役職 / 身分、電話番号の項目について降順 / 昇順にソートできます。また[全て選択][全て解除]を利用して削除できます。

The screenshot shows a web interface for user management. At the top, there are three buttons: '全て選択' (Select All), '全て解除' (Deselect All), and '削除' (Delete). To the right is a 'ユーザ登録' (User Registration) button. Below these is a search section with a dropdown menu showing 'ID' and '名前' (Name), a text input field for '検索語' (Search Term), and a '検索開始' (Start Search) button.

3) ユーザーの修正

修正ボタン()は特定のユーザーのパスワードやユーザー情報を修正する時に使用するボタンです。

あるユーザーがパスワードを忘れてしまった場合、パスワード欄に新たにパスワードを入力することで、修正ができます。Unixではパスワードを設定していないIDがたまにありますが、@MESSAGEではパスワードがないユーザーは存在できないようになっています。

4) ユーザーの削除

現在検索されているユーザーの中から、下段の[全体選択][全体解除]ボタンとチェックボックスや指定項目を基準に昇順 / 降順でソートして、目的のユーザーを削除できます。

	現在出力されたユーザー目録をすべてチェックします。
	現在チェックされた目録をすべて解除します。
	現在チェックされたユーザー目録をすべて削除します。

5) 指定項目を昇順 / 降順でソートする方法

指定項目をクリックすると昇順(▲)でソートされ、もう一度クリックすれば降順(▼)でソートされます。

次の図は ID 項目をクリックした時に昇順でソートされた画面です。ここでは現在 28 ページを照会していますが、1 ページに出力する [] ボタンをクリックすれば昇順でソートされた全員のユーザーが一画面に出力できます。

<input checked="" type="checkbox"/>	修正	ID	名前	部署/学科	役職/身分	電話番号	接続時間	接続回数
<input type="checkbox"/>		kaku	kaku (角張)	Computer	Manager		2000/07/24(月) 05:54pm	2 回
<input type="checkbox"/>		asada	あさだ (朝田)	Logistics	Director		2000/07/26(水) 04:14pm	2 回
<input type="checkbox"/>		dwkim	きんどんく		Manager	3-5562-3109	2000/07/27(木) 05:33pm	75 回
<input type="checkbox"/>		sysop	(金東郁)				2000/07/27(木) 05:12pm	336 回

4.1.2 申請者管理

管理者の環境設定のユーザー登録処理実行方法で“申し込み後管理者が加入処理”を選択すれば、ユーザーが加入申し込みをした後に処理欄に登録待機されます。

このような待機中のユーザーに対して運営者が登録を許可するユーザーに限りチェックボックスをチェックしボタンをクリックすれば、後に@MESSAGE の正式ユーザーとして登録されます。

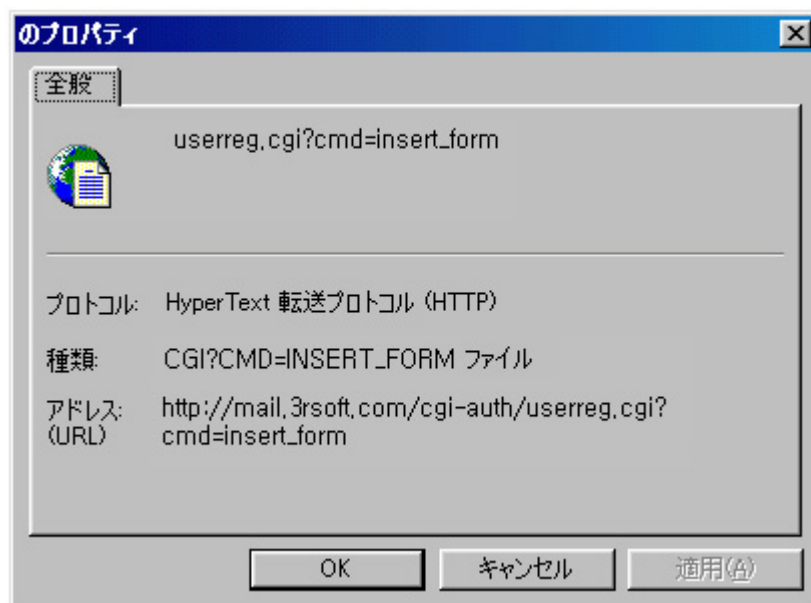
ユーザー検索や、削除、修正、ソートに関する事項はユーザー管理の方法と同じです。

4.1.3 申し込みフォーム

申し込みフォームは、運営者がこの欄を通じてユーザー登録を行うメニューでなく、ここにリンクされた申し込みフォームのURLをログインページにリンクするように作られたメニューです。

そして、申し込みフォームのテンプレートを修正した場合は、このメニューを通じて確認ができ、最終完了した申し込みフォームをここに明示されたURLの外部にリンクします。

管理者メニューの「申し込みフォーム」にマウスポインターを当てた後にマウスの右ボタンをクリックし[プロパティ]をクリックすれば、次のような画面が表われます。



ここに明示された http://mail.3rsoft.com/cgi-auth/userreg.cgi?cmd=insert_form を ロ
グインページにリンクします。

4.1.4 管理者の環境

管理者の環境設定では、@MESSAGE が設置されたパーティションのディスク使用情報と、ユー
ザーが@MESSAGE を利用する時に必要なメールボックス基本容量や、ユーザーの制限事項が設
定できます。それでは管理者メニューの機能を調べてみましょう。

1) メールボックスの基本割り当て容量

メールボックス 基本割り当て容量	<input type="text" value="10"/> MB
------------------	------------------------------------

ユーザーが使用するメールボックスの基本割り当て容量を指定します。この割り当て量を
基準に運営者が “ユーザー管理” メニューから特定ユーザーへの追加割り当て量を指定で
きます。したがって、A というユーザーに基本割り当て量 3 MB と追加割り当て量 7 MB
が割り当てられれば、合計 10 MB の容量をメール保管に使用できるようになります。

ここで割り当てるメールボックスの容量はディスクの絶対容量でなく、ディスクが許容す
る限度まで相対的にユーザー別に割り当てられるようになっています。すなわち、最大ユ
ーザー数を 1 万名として、ユーザー別の基本メールボックスの容量を 3 MB に指定すると、
@MESSAGE に必要なハードディスクは合計で 30 GB になります。しかし現在の状況では 1
0 GB しかなく、後で 20 GB を追加しようとした時に、このようなハードディスク管理
方式は運営にあたって多くの柔軟性を与えてくれるようになっています。

このような運営でハードディスクが絶対的に不足する場合、@MESSAGEはどのように対処するのでしょうか？ @MESSAGEは、ディスク使用可能容量が30MB程しかない場合には、すべてのユーザーのメール受信とメール移動などの機能を中止させ、運営者にディスク容量不足についての警告メッセージを送ることで最小限の安全を保障しています。

2) 外部トレイの登録限度

添付ファイル制限個数	<input type="text" value="5"/> 個まで
------------	------------------------------------

外部トレイは、@MESSAGEサーバー以外の別のサーバーにメールアカウントがある場合にそのアカウントを管理するのに使用される機能です。

一般的に外部トレイの登録限度数が多い場合、外部トレイに登録されたサーバーを毎回接続してメールを確認しなければならず、それだけの負荷がシステムに発生することになります。もし、外部にあるサーバーが迅速に応答せず、接続速度が遅いウェブデーモンとプログラムがシステム上に常駐し続けているなら、システムに非常に大きな負荷をかけることもありえます。したがって、登録限度数を適切に指定することが必要であり、通常3個から5個まで指定するのがいいでしょう。

3) ユーザー登録申し込みの処理方法

ユーザ登録申し込みの処理方法	<input checked="" type="radio"/> 申し込み後すぐ加入 <input type="radio"/> 申し込み後管理者が加入処理 <input type="checkbox"/> ID 大文字小文字許可
----------------	---

ユーザー登録申し込みの処理は2種類あります。

“申し込み後すぐ登録”は、ユーザーが申し込み後すぐに登録されログインできる登録方式です。“申し込み後運営者が登録処理”は、運営者が登録申し込みしたユーザーを確認した後に登録する方式です。

4) 一度に送信できるメール数

一度に送信できるメール数	<input type="text" value="30"/> 通
--------------	-----------------------------------

スパマーが@MESSAGEを使って大量のスパムメールを送ることもできますが、その時は瞬間的に発生する大量のメールのために、かなりの負荷がかかります。そこで、この機能により、一度に送信できるメール数を制限して、負荷を最小限にすることができます。

5) 添付ファイルサイズの制限

添付ファイルサイズの制限	<input type="text" value="5"/> MBまで
--------------	-------------------------------------

ファイルをアップロードする際、アップロードが終わるまでプロセスが処理しなければな

りません。また、アップロードが終わった時にバイナリファイルの場合はBASE64でエンコードしなければならないので、ファイルサイズに比例してシステムに加わる負荷には大きな差が起こり得えます。

そこで、インターネット上に数多くある無料メールサービスを行っているサイトでは、アップロードをまず別のサーバーを通じて行った後でメールを作成して送る方式を取っています。

@MESSAGEでは、運営者が適切な添付ファイルのサイズを制限することができます。そうすれば大きな負荷をかけること無く、一度に複数の添付ファイルを送ることができます。添付ファイルサイズは5MB以下が適当でしょう。

6) 添付ファイル最大個数

添付ファイル制限個数	5 個まで
------------	-------

この設定もシステム負荷を最小限にするために行います。

添付ファイル数が増えた時に発生するファイルアップロードにかかる時間やエンコード時の負荷に備えて、添付ファイルサイズを制限するオプションと個数を制限するオプションを適切に調整しメールシステムが最適な状態で動作できるようにしてください。

7) 加入歓迎メッセージ

加入歓迎メッセージ	題名	ようこそ、@MESSAGEへ！	加入歓迎メッセージ有無 <input checked="" type="checkbox"/>
	本文	@MESSAGEは、Webベースの次世代メッセージング・サーバソフトウェアです。	

管理者が新規加入者に加入歓迎メッセージを送りたい場合は、加入歓迎メッセージの件名と本文内容を入力した後、[加入歓迎メール有無]チェックボックスをチェックします。ユーザー登録処理方法によって[申請後すぐに登録]を管理者が選択した場合、加入後すぐに加入歓迎メッセージが伝達されます。[申請後運営者が登録処理]の場合は、管理者が登録処理したユーザーにだけメールが伝達されます。

加入歓迎メッセージを送信したくない場合は、[加入歓迎メール有無]チェックボックスのチェックをはずします。加入歓迎メッセージはシステム上の userdb ディレクトリの下に welcome.[chn, eng, jpn, kor]_mail RFC822 形式のメールで作られます。

8) 管理者署名

管理者署名	Do you know @MESSAGE? Powered by 3R Soft K.K.
-------	---

管理者署名はユーザーが署名を送るのと同じようにユーザーが送るメールに対して管理者が前もって指定しておいた署名を付けて送る機能です。通常、運営者はサイトの宣伝メッセージを送るようになっています。

3R Softでもテストアカウントを発行していますが、テストユーザーが送るメールについてはメールの終わりに“Do you know @MESSAGE? Powered by 3R Soft K.K.”と自動的に付けて送るようにしています。

9) 削除済みメールの保管期限

削除済みメール削除日	<input type="text" value="3"/> 日前のメール自動削除
------------	---

削除済みのメールが長い間保管されていると、無駄にメールサーバーの容量を占めることになります。従って、より効率的なシステムの管理のために削除済みメールの保管の期限を決めておく必要があります。@MESSAGEではこのような削除済みのメールを自動的に削除することをお勧めします。期限を“0”にすれば別の作業までずっとメールが保管されますし、日単位の日数を指定しておけば、その期間が経過したら削除済みのメールは自動的に完全削除されます。

10) ログイン時に表示する「お知らせ」ページのメッセージ数

ログイン時に表示する お知らせのページのサイズ	<input type="text" value="5"/>
----------------------------	--------------------------------

@MESSAGEでは、ユーザーがログインした後初画面で、ユーザーに「お知らせ」を表示するようになっています。

ここでは「お知らせ」のページのメッセージ数を指定し、いくつかのメッセージが初画面に表示されるかを決定します。「お知らせ」の更新日程に従ってシステムの管理者がその個数を指定できます。

11) 認証Cookie形式

認証Cookie形式	<input type="radio"/> Persistent Cookie <input checked="" type="radio"/> Session Cookie
------------	---

cookie とは、CGI プログラムや JavaScript 等でセッティングされるものであり、サーバーとクライアント間の情報交換や認証などに用いられています。@MESSAGE では、この cookie を使用しユーザーの認証を行いメールサーバーとクライアントをつなげます。

@MESSAGE では、2 種類の cookie を利用することができます。また、各 cookie 別の特徴は以下の通りです。システムの目的に合わせて設定してください。

Persistent Cookie

ログイン時、パソコン内に保管されている情報を判断しログインを許可するかを判断します。この Persistent Cookie は、ログアウト後にもユーザーのパソコン内に一定期間ファイルの形として保管され、次回自動的にログインできるようサポートします。ただし、パソコン内に cookie がファイル形式で一定期間保管されているため、不正使用者によるセキュリティ問題が発生する恐れがあります。しかし、Persistent Cookie を使えば、MS Internet Explorer4.0 にて発生する認証エラーを防ぐことができます。

Session Cookie

Session Cookie は、ウェブ・ブラウザが利用されている間のみ動作する cookie です。この cookie を認証するとき使用するとログアウトと同時にユーザーの情報がパソコンから削除されるため、ウェブ方式のメールシステムで一般的に使われています。ただし、MS Internet Explorer4.0 では、ブラウザ上で操作中、新たなブラウザウィンドウが開かれた場合、その新しいブラウザウィンドウへ認証がサポートできないなどの制限があります。従って、Session Cookie を認証 cookie として使用し、MS Internet Explorer4.0 でのサポートを希望する場合には、別のブラウザウィンドウを使わないようテンプレートの修正が必要となります。

掲示板の管理

@MESSAGEの管理者は掲示板を管理できる権限も持つようになります(掲示板管理者の権限は@MESSAGE管理者により任意のユーザーへ権限を与えることができる)。

基本的に割り当てられる掲示板は次のとおりで、管理者は掲示板を追加または削除できます。

- **お知らせ** : @MESSAGE のユーザーへの「お知らせ」掲示板で、管理者がこの掲示板に文章を登録すれば、ユーザーのログイン時に自動的に画面に表示されます。
- **会員掲示板** : @MESSAGE のユーザーのみが掲示板の文を作成/閲覧できます。
- **CUG 掲示板** : CUG(Closed User Group)を作り、CUG の構成員だけが掲示板を使用できます。@MESSAGE の管理者は掲示板の管理者を指定でき、CUG の管理は掲示板の管理者が行います。
- **Q&A 掲示板** : 質問と応答ができる掲示板。ユーザーなら誰でも文の作成することができます。

- **自由掲示板** : @MESSAGE のユーザーではなくても、誰もが自由に使用できます。

<input checked="" type="checkbox"/>	修正	掲示板の名前	確認の権限	作成権限	管理者のID	今日	総
<input type="checkbox"/>		お知らせ	全てのユーザ	管理者	sysop	0	11
<input type="checkbox"/>		会員 掲示板	全てのユーザ	管理者	sysop	0	1
<input type="checkbox"/>		CUG 掲示板	全てのユーザ	全てのユーザ	sysop	6	3
<input type="checkbox"/>		Q&A 掲示板	全てのユーザ	管理者	sysop	0	6
<input type="checkbox"/>		自由 掲示板	全てのユーザ	全てのユーザ	sysop	0	2

検索件数: 5件 総: 5件

☒ 掲示板の名前
 ☒ 管理者のID
 検索語

● 掲示板の登録

掲示板メニューを選択すると、現在運営されている掲示板のリストを見ることができます。また、新しい掲示板を追加登録したい場合は、掲示板の下段にある[掲示板の登録]メニューをクリックし希望の掲示板を追加登録することができます。

掲示板の登録メニューでの入力する項目は次のようになっています。

● 掲示板の一般的な設定	
掲示板の名前	<input type="text"/>
掲示板DBの名	<input type="text"/> - 必ず、英文字または数字のみ入力して下さい。
掲示板確認の権限	全てのユーザ
掲示板作成権限	全てのユーザ
掲示板管理者のID	全てのユーザ
CUGユーザのIDリスト	<div> <div>加入者</div> <div>CUGユーザ</div> <div>管理者</div> </div>

● 掲示板の一般的な設定

- **掲示板の名前** : 掲示板の名前を入力する。
- **掲示板 DB の名前** : 掲示板 DB の名前を指定するところで、必ず、英文と数字の組み合わせで入力する。
- **掲示板閲覧権限, 作成権限** : 掲示板を閲覧できる権限と作成できる権限を決定

できる。権限の設定は次のどれかにする。

- 全てのユーザー : 全てのユーザー (@MESSAGE 登録ユーザー以外でも利用可能)
 - 加入者 : @MESSAGE で ID をもらったユーザー
 - CUG ユーザー : 管理者が指定する別のユーザー
 - 管理者 : 掲示板の管理者で、@MESSAGE の管理者が指定できる。また、管理者は掲示板に登録された文を削除できる権限をもつ。
- 掲示板管理者の ID : @MESSAGE の管理者が掲示板の管理者を指定し掲示板の管理を任せられる。
- CUG ユーザーの ID リスト : 掲示板の使用権限を CUG(Closed User Group)のみに許可したい場合は、その CUG メンバーのリストを入力する。

● 掲示板テンプレートの設定

● 掲示板Templateの設定	
掲示物のリストテンプレート	t_board_list.html
掲示板テンプレート(NS)	t_board_form.html
掲示板テンプレート(IE)	t_board_ie_form.html
掲示物の確認のフレームテンプレート	t_board_frame.html
掲示物の確認のヘッダテンプレート	t_board_hdrinfo.html
掲示物の確認の本文テンプレート	t_board_body.html
掲示物の確認のButtonテンプレート	t_board_button.html
掲示物確認の添付ファイルの確認結果のテンプレート	t_board_attachfile_list.html
掲示物の修正/削除時のパスワード確認のテンプレート	t_board_getpw_form.html

基本テンプレートのファイルをコピーし、形を変更し、変えられたファイルをテンプレートとして設定するによって掲示板の形を自由に変えることができます。

● 掲示板の名前の修正

掲示板の名前を修正する場合は、掲示板リストの二番目のカラムにある修正[✎]ボタンをクリックします。

● 掲示板の削除

掲示板を削除する場合は、掲示板リストの初めてのカラムにあるチェックボックスにチェックをいれ、掲示物の下段にある[削除]ボタンをクリックします。

4.2 @MESSAGE の運営者に必要な事項

4.2.1 @MESSAGE の応急復旧方法

▶ 停電によるファイルシステム損傷問題の解決方法

長期間システムを運営していると、停電によってシステムがダウンする場合があります。このような時、Solaris や Linux のような Asynchronous 形式のファイルシステムの場合、ファイルシステムに致命的な損傷を与えことがあります。Unix ではこのような場合システムブート時にファイルシステムをチェックしますが、それでもだめなほど致命的な場合には、ファイルシステムをフォーマットし直さなければならないこともあります。

実際にこのような状況が発生した場合、的確な対処方法を知らなければ、ある程度の復旧ができる状況にあるにもかかわらず貴重な情報をすべてなくしてしまうこともあります。そこで、被害を最小限にとどめる方法をいくつか段階別に提示してみましょう。

[1 段階] システムの再起動

Solaris や RedHat Linux のような場合、ファイルシステムが Asynchronous ファイルシステムのためにシステムを再ブートする前に必ずディスクを Synchronize しなければなりません。ディスクを Synchronize する場合は、シェル上で sync 命令を実行します。

システムメモリーには、今まで実行されていたプログラムの一部が残っているため、システムの電源をいきなり切る場合はこのような情報をなくすこともあり、最悪の場合はファイルシステム全体が壊れてしまうこともあります。したがって、shutdown させる時は必ず 'sync' 命令でメモリーの内容をディスクに移さなければいけません。

システムを再ブーディングする命令は、Solaris や RedHat Linux では次のようにします。

```
reboot [Enter]
```

または shutdown -r +1 [Enter] (一分後にシステム再起動)

[2 段階] システムをシングルモードで起動

[1] Solaris の場合

起動時、PROM モードに入るキーは通常[Stop]+A です。このキーを押せば PROM モードになりますが、ここで次のような命令を入力することでシングルモードとして起動します。

Boot - s

[2] RedHat Linux の場合

Lilo プロンプトで次のように入力するとシングルモードで起動します。

Boot : linux single

[3 段階] システムにログインした後 fsck を実行

すべてのファイルシステムを検査する場合には次の命令を入力します。

[1] Solaris の場合

fsck [Enter]

特定のパーテーションだけをチェックしたい場合は、/etc/vfstab に明示されたファイルシステムを確認した後で fsck 命令を次のように実行します。次の例では www パーテーションのファイルシステムをチェックします。

#device #to mount #	device to fsck	mount point	FS type	fsck pass	mount at boot	mount options
#/dev/dsk/c1d0s2	/dev/rdisk/c1d0s2	/usr	ufs	1	yes	-
fd -	/dev/fd fd	- no	-			
/proc -	/proc proc	- no	-			
/dev/dsk/c0t3d0s1	-	swap	-	no	-	
/dev/dsk/c0t3d0s0	/dev/rdisk/c0t3d0s0	/	ufs	1	no	
-						
/dev/dsk/c0t3d0s6	/dev/rdisk/c0t3d0s6	/usr	ufs	1	no	
-						
/dev/dsk/c0t3d0s3	/dev/rdisk/c0t3d0s3	/var	ufs	1	no	
-						
/dev/dsk/c0t3d0s5	/dev/rdisk/c0t3d0s5	/opt	ufs	2	yes	
-						
/dev/dsk/c0t2d0s0	/dev/rdisk/c0t2d0s0	/home	ufs	2	yes	
-						
/dev/dsk/c0t2d0s1	/dev/rdisk/c0t2d0s1	/www	ufs	2	yes	
-						
swap -	/tmp tmpfs	- yes	-			

fsck /dev/rdisk/c0t2d0s1 [Enter]

[2] RedHat Linuxの場合

fsck -A [Enter]

特定のパーティションだけをチェックしたい場合は/etc/fstabに明示されたファイルシステムを確認した後でfsck命令を次のように実行します。次の例ではwwwパーティションのファイルシステムをチェックしています。

/dev/hda1	/	ext2	defaults	1 1
/dev/hdd1	/home	ext2	defaults	1 2
/dev/hdc1	/www	ext2	defaults	1 2
/dev/hda5	swap	swap	defaults	0 0
/dev/fd0	/mnt/floppy	ext2	noauto	0 0
/dev/cdrom	/mnt/cdrom	iso9660	noauto,ro	0 0
none				

fsck /dev/hdc1 [Enter]

もし www パーティションが復旧不可能なほど壊れ、fsck 命令を使用しても復旧できず、fsck 命令実行途中に segmentation fault エラーを表示しながら終了したならばどうすればよいのか？

この場合には残念ながら対策がありません。ただ、以前 RedHat5.0 を使用していた時にこのような問題が一度発生したことがありましたが、その時の切り札(?)として mount 命令で壊れたファイルシステムにマウントしてみました。幸いにもそのファイルシステムがマウントでき、一部の重要なファイルは別のファイルシステムにコピーすることで、復旧できました。

▶ ユーザー D B が壊れた場合の復旧方法

@MESSAGE は userdb ディレクトリーにユーザー D B ファイル(userinfo.dbf、userinfo.cdx、userinfo.fpt)を保存していますが、ユーザーが新しく追加されたり、修正、削除されたりする前に、ユーザー D B ファイルを .auto_backup ファイルにコピーして実行します。したがってファイルシステムが壊れてしまったとか、別の理由によってユーザー D B が壊れた場合は、.auto_backup ファイルを使って復旧することができます。

． @MESSAGE のテンプレートファイル情報

5.1 テンプレートファイル情報

メニュー	テンプレートファイル名	テンプレートの説明
ログイン	default.html	ユーザーログインテンプレート
挿入項目	i_mailstat_calendar.html	カレンダー挿入テンプレート
	i_navigation_admin_button.html	管理者用ナビゲーション・ツール・バーの付属ファイル
	i_navigation_button.html	一般ユーザー用ナビゲーション・ツール・バーの付属ファイル
	i_scheduler_calendar.html	スケジューラのカレンダー及び検索テンプレート
	i_slogan.html	スローガン挿入テンプレート
	i_userinfo_form.html	ユーザーの情報で、一般的事項の入力テンプレート
	select_color.html	カラー設定スタイルシート
アドレス帳 管理者環境設定 迷惑メール	t_addrbook_form.html	アドレス帳の登録テンプレート
	t_addrbook_list.html	アドレス帳のリストのテンプレート
	t_addrgroup_form.html	アドレス帳のグループ登録テンプレート
	t_admin_preference_form.html	管理者の環境設定のテンプレート
	t_antispam_already_registered.html	登録済み迷惑メールリスト案内テンプレート
	t_antispam_form.html	迷惑メール遮断のテンプレート
掲示板	t_antispam_register.html	迷惑メールリスト登録完了案内テンプレート
	t_board_attachfile_list.html	掲示物の添付ファイルの確認結果のテンプレート
	t_board_body.html	掲示物の確認の本文テンプレート
	t_board_button.html	掲示物の確認のボタンテンプレート
	t_board_form.html	掲示板フォームテンプレート
	t_board_frame.html	掲示物の確認のフレームテンプレート
	t_board_getpw_form.html	掲示物の修正/削除時のパスワード確認のテンプレート
	t_board_hdrinfo.html	掲示物の確認のヘッダテンプレート
	t_board_ie_form.html	掲示板フォーム(Explorer5.01用)テンプレート
	t_board_list.html	掲示物のリストテンプレート
管理者用の掲示板 メール作成	t_boardadm_form.html	管理者メニューでの掲示板テンプレート
	t_boardadm_list.html	管理者メニューでの掲示板のリストのテンプレート
	t_composer_form.html	メールの作成テンプレート
クッキーエラー	t_composer_ie_form.html	メールの作成(Explorer5.01用)テンプレート
	t_cookie_error_msg.html	クッキー・エラーのテンプレート
新着メール確認 個人ファイル管理	t_fetch_newmail.html	新着メールの確認テンプレート
	t_filemgr_dir_form.html	ファイルマネージャーDirectoryの追加/修正のテンプレート

	t_filemgr_file_form.html	ファイルマネジャーのファイルの追加/修正のテンプレート
メールボックス整理	t_filemgr_list.html	ファイルマネジャーのリスト表示テンプレート
	t_filter_form.html	メールトレイ整理のフォームテンプレート
ライセンス	t_filter_list.html	メールトレイ整理のリストテンプレート
	t_license_process_result.html	ライセンスキーの申請結果テンプレート
ログイン	t_login_fail.html	ログイン失敗のテンプレート
ログアウト	t_logout_message.html	ログアウト後戻るリンクテンプレート
メール作成	t_mail_delivery_status.html	メール発信の結果テンプレート
メール受信・送信	t_mail_list.html	メールトレイリストのテンプレート(受信メール、発信済みメール、削除済みメール、下書き、個人メール)
メール統計	t_mailstat_view.html	メール統計表示テンプレート
メインフレーム関連 メールボックス管理 メモ ログイン後の表示 メール確認(受信)	t_main_frame.html	メインフレームテンプレート
	t_main_logo.html	ロゴ表示テンプレート
	t_main_menu_list.html	メニューリストテンプレート
	t_mboxmgr_form.html	メールトレイのフォームテンプレート
	t_mboxmgr_list.html	メールトレイのリストテンプレート
	t_mboxmgr_reload.html	メールトレイの変更時の更新テンプレート
	t_memo_form.html	メモ作成フォームテンプレート
	t_memo_view.html	メモ表示テンプレート
	t_msinfo.html	新着情報の表示テンプレート
	t_mview_attach_list.html	メール確認の添付ファイルのテンプレート
	t_mview_body.html	メール確認の本文テンプレート
	t_mview_button.html	メール確認のボタンテンプレート
	t_mview_frame.html	メール確認のフレームのテンプレート
	t_mview_hdrinfo.html	メール確認のヘッダのテンプレート
個人情報管理	t_passwd_mod_form.html	パスワードの変更テンプレート
外部メールトレイ	t_pop3_form.html	外部トレイのテンプレート
	t_pop3_list.html	外部トレイのリストテンプレート
ユーザ環境設定 スケジューラ	t_preference_form.html	ユーザ環境設定テンプレート
	t_scheduler_insert_form.html	日程の入力のテンプレート
	t_scheduler_js_func.html	スケジューラのJava Scriptのテンプレート
	t_scheduler_modify_form.html	スケジューラの日程修正テンプレート
	t_scheduler_search.html	スケジューラの検索結果のテンプレート
	t_scheduler_view_daily.html	スケジューラの日間の日程テンプレート
	t_scheduler_view_monthly.html	スケジューラの月間の日程テンプレート
署名管理	t_scheduler_view_weekly.html	スケジューラの週間の日程テンプレート
	t_sign_form.html	署名の管理/修正のテンプレート

	t_sign_ie_form.html	署名の管理/修正(Explorer5.01 用) のテンプレート
オプション SMTP 管理	t_smtp_server_form.html	SMTP サーバー管理者のテンプレート

5. 2 @MESSAGE ファイル構造

@MESSAGE ルート ディレクトリー

```
|-- cgi-auth [@MESSAGE 関連 CGI プログラムが入っているディレクトリー]
|   |-- addrbook.cgi           - アドレス帳プログラム
|   |-- addrgroup.cgi         - アドレス帳グループプログラム
|   |-- admin_pref.cgi        - [管理者用]管理者環境設定プログラム
|   |-- antisipam.cgi         - 迷惑メールの登録プログラム
|   |-- bio.cgi               - バイオリズム表示プログラム
|   |-- board.cgi             - 掲示板プログラム
|   |-- boardadm.cgi          - [管理者用]掲示板管理
|   |-- composer.cgi          - メールの作成プログラム
|   |-- filemgr.cgi           - 個人ファイル管理プログラム
|   |-- filter.cgi            - メールボックスプログラム
|   |-- httpasswd.cgi         - パスワード管理プログラム
|   |-- login.cgi             - ログイン処理プログラム
|   |-- logout.cgi            - ログアウトプログラム
|   |-- license_req_form.cgi   - ライセンス応答プログラム
|   |-- maillist.cgi          - メールリスト処理及び検索プログラム
|   |-- mailrcpt.cgi          - 受信確認処理プログラム
|   |-- mailstat.cgi          - メール統計プログラム
|   |-- mailview.cgi          - メール表示プログラム
|   |-- main.cgi              - ログイン後、該当プログラムを自動的に実行させるプログラム
|   |-- mboxmgr.cgi           - メールトレイの管理プログラム
|   |-- memo.cgi              - メモ伝達プログラム
|   |-- menu.cgi              - メニュー管理プログラム
|   |-- msinfo.cgi            - ログイン画面のプログラム
|   |-- notify.cgi            - ログイン時の新しいメールの確認及びメモ確認プログラム
|   |-- nph-pop3c.cgi         - 外部トレイメール処理プログラム
|   |-- pop3m.cgi             - 外部トレイメール管理プログラム
|   |-- preference.cgi        - 環境設定プログラム
|   |-- sign.cgi              - 署名管理プログラム
|   |-- scheduler.cgi         - スケジューラプログラム
```

```
| |-- smtpsrvmg.cgi          - [管理者用]メール発信サーバーの管理プログラム
| |-- useradm.cgi           - [管理者用]ユーザー管理プログラム
| |-- usercon.cgi           - [管理者用]申請者処理プログラム
| |-- userinfo.cgi          - ユーザー情報管理プログラム
| |-- userreg.cgi           - 加入申し込み処理プログラム
| |-- vacation.cgi          - 留守設定プログラム
|-- conf
| |-- httpd.conf.master     - Apache ウェブサーバー環境設定マスターファイル
| |-- httpd.conf            - Apache ウェブサーバー一般ユーザー環境設定ファイル
| |-- httpd_admin.conf      - Apache ウェブサーバー管理者環境設定ファイル
| |-- mime.types            - Apache ウェブサーバーMIME 設定ファイル
| |-- msgtbl                - プログラム内部発生メッセージデータマスターファイル
| `-- msgtbl_[言語: chn,eng,jpn,kor].txt - プログラム内部発生メッセージデータ - ファイル
|-- htdocs [ウェブ文書ルートディレクトリー]
| |-- index.cgi             - ログインページ出力及びメールの確認プログラム
| `-- template--[chn1, eng1, jpn1, kor1]
|
|         |-- テンプレートファイル(テンプレートファイル情報参照)
|         |-- images        - テンプレートファイルに関するイメージファイル
|         |-- help          - ヘルプディレクトリー
|         `-- notice        - お知らせ事項ディレクトリー
|-- mshttpd                 - MailStudio エブサーバーデモプログラム (Apache サーバー)
|-- guessOS                 - システム OS チェックスクリプト
|-- mkauthdb                - 認証 DB 作成プログラム
|-- rmauthdb                 - 認定 DB に登録されていないユーザーの削除プログラム
|-- mspassd                 - ユーザー DB 統合処理プログラム
|-- spool [MailStudio スプールディレクトリー]
|-- start                   - メールシステム 始動スクリプト
|-- stop                    - メールシステム 終了スクリプト
|-- tmp                     - MailStudio 臨時作業ディレクトリー
|-- userdb - ユーザーDB ファイルとユーザーのディレクトリー
| |-- sysop [SYSOP のユーザーメールボックスディレクトリー (以下、他の ID も同一)]
| | |-- GROUPID_3902BB99.group - 住所録グループファイル
| | |-- addrbook.cdx          - アドレス帳 DB インデックスファイル
| | |-- addrbook.dbf          - アドレス帳 DB ファイル
| | |-- inbox                 - 受信メールが保存されるディレクトリー
| |     |-- inbox.dbf         - 受信トレイファイル [RFC 822 形式で保存]
| |     |-- inbox.idx         - 受信トレイ インデックスファイル
| |     |-- 19990911.AAA937031890@3rsoft.com - RFC822 メール
```

	`-- notice	- お知らせ事項ディレクトリー
	-- outbox	- [送信メールが保存されるディレクトリー]
	-- trash	- [削除メールが保存されるディレクトリー]
	-- draft	- [臨時に保管されたメールが保存されるディレクトリー]
	-- mbox????????	- [個人保管目的のメールが保存されるディレクトリー]
	-- mailinfo.idx	- 個人メールボックスに対する情報が入るファイル
	-- preference.cfg	- ユーザーオプションに関する環境設定ファイル
	-- newinfo.inf	- 新しいメール情報が保存されるファイル
	-- pop3.cdx	- 外部トレイ DB インデックスファイル
	-- pop3.dbf	- 外部トレイ DB ファイル
	-- memo	- メモファイル
	`-- sign.txt	- 署名内容を入れるテキストファイル
	-- adm_preference_[言語: chn,eng,jpn,kor].cfg	- 各言語別管理者環境設定ファイル
	-- adm_mail_[言語: chn,eng,jpn,kor].txt	- 各言語別加入申請メールに対する本文
	-- adm_sign_[言語: chn,eng,jpn,kor].txt	- 各言語別管理者署名ファイル
	-- welcome.[言語: chn,eng,jpn,kor]_mail	- 各言語別の加入申請メール (RFC822 形式)
	-- userinfo.cdx	- ユーザーDB インデックスファイル
	-- userinfo.cdx.auto_backup	- ユーザーDB 自動バックアップ インデックスファイル
	-- userinfo.dbf	- ユーザーDB ファイル
	-- userinfo.dbf.auto_backup	- ユーザー DB 自動バックアップ ファイル
	-- userinfo.fpt	- ユーザー DB メモファイル
	-- userreg.cdx	- 申請者 DB インデックスファイル
	-- userreg.dbf	- 申請者 DB ファイル
	`-- userreg.fpt	- 申請者 DB メモファイル
	`-- log [アパッチログファイルが保存されるディレクトリー]	
	-- access_log	- ウェブブラウザの接続に関するログが入っているファイル
	-- error_log	- 要請に関するエラー事項が保存されているログファイル
	`-- httpd.pid	- ウェブサーバープロセス ID ファイル

5.3 @MESSAGE メールパック Release

@MESSAGE メールパック Release (以下メールパック)は、SMTP サーバーの SENDMAIL v8.10.2 と@MESSAGE MDA(Mail Delivery Agent)の MS MAILER v5.0、@MESSAGE POP3 サーバーの MSPOP3 v5.0 が含まれているパッケージです。

@MESSAGE は、@MESSAGE の中の DB にある情報を持って処理するので、他の MDA と POP3 サーバーと一緒に使う事はできません。必ず @MESSAGE MSMAILER と MSPOP3 サーバーを設置し使用しなければなりません。

[1 段階] メールバックをルートディレクトリーにコピーする

```
cp atmessage_mail_pack_[os_name].tar.gz /
```

[2 段階] メールバックを解凍する

```
gzip -d atmessage_mail_pack_[os_name].tar.gz
```

[3 段階] 既存 sendmail デーモンの実行を終了する

Solaris の場合

```
/etc/init.d/sendmail stop [Enter]
```

RedHat Linux の場合

```
/etc/rc.d/init.d/sendmail stop [Enter]
```

[4 段階] システムルートディレクトリーで TAR ファイルを解凍する

```
tar xvf atmessage_mail_pack_[os_name].tar [Enter]
```

該当ディレクトリーに次の様にメールバック関連ファイルが解凍されます。

```
-r-sr-xr-x root/root /usr/sbin/sendmail
-rwxr-xr-x root/root /usr/bin/msmailer
-rwxr-xr-x root/root /usr/sbin/mspop3d
-rw-r--r-- root/root /etc/sendmail.cf
-rw-r--r-- root/root /etc/sendmail.cw
drwxr-xr-x root/root /etc/mail/
-rw-r--r-- root/root /etc/mail/access
-rw-r--r-- root/root /etc/mail/access.db
-rw-r--r-- root/root /etc/mail/aliases
-rw-r--r-- root/root /etc/mail/aliases.db
-rw-r--r-- root/root /etc/mail/relay-domains
-rw-r--r-- root/root /etc/mail/virtusertable
```

```
-rw-r--r-- root/root /etc/mail/virtusertable.db
-rw-r--r-- root/root /etc/mail/relay-domains
-rw-r--r-- root/root /etc/mail/sendmail.cf
-rw-r--r-- root/root /etc/mail/sendmail.pid
-rw-r--r-- root/root /etc/mail/sendmail.st
```

[5 段階] sendmail 環境設定ファイルを修正する

次のように仮の値を使って sendmail の環境設定ファイルを修正します。

メールサーバーネーム: mail.3rsoft.com
E-mail ドメインネーム: 3rsoft.com

1) /etc/sendmail.cw ファイルにメールを受け取るドメインネームを書く。

このファイルには明示されているドメインネームを記入します。メールを受信すると、他の場所にメールを送らず MDA(Mail Delivery Agent, メールを MTA から受け取りメールボックスに保存するプログラム)にメールを伝達します。普通、FQDN(Fully Qualified Domain Name)を書き込みますが、幾つかのホストネームを使用する場合には、全てを書き込まなければなりません。

3rsoft.com

2) sendmail.cf ファイルの中に Cw 命令で sendmail.cw に書いたドメインネームと同じドメインネームを書く。

Cw3rsoft.com

3) sendmail.cf ファイルの中にあるメーラー設定部分を次の様に修正する。

```
Mlocal P=/usr/bin/msmaler, F=lsDFMAu5:/|@qSPfh9, S=EnvFromL/HdrFromL, R=EnvToL/HdrToL,
      T=DNS/RFC822/X-Unix,
      A=msmaler -d $u
Mprog, P=/bin/sh, F=lsDFMoqeu9, S=EnvFromL/HdrFromL, R=EnvToL/HdrToL, D=$:/,
      T=X-Unix/X-Unix/X-Unix,
      A=sh -c $u
```

4) `/etc/mail/relay-domains` ファイルにリレーを許可するドメインネームや IP アドレスを入力する。

リレーを許可するドメインネームを明示する理由は、専門的なスパマー達がリレーを許可する SMTP サーバーを利用し、大量のメールを送信するのを防ぐためです。

`3rsoft.com <= 3rsoft.com` を使用するドメインに対しては `relay` を許可するという指定

[6 段階] ディレクトリーモード変換

`sendmail 8.10.x` では特定ディレクトリーの Access Mode を検査し `group` と `other` の権限が書き込み可能の権限になっている場合、エラーメッセージと共に `sendmail` の実行が出来ないようになっています。次の様に該当ディレクトリーのグループ書き込み可能の権限を除去してください。

```
chmod go-w /etc /etc/mail /usr /var /var/spool /var/spool/mqueue
chown root /etc /etc/mail /usr /var /var/spool /var/spool/mqueue
```

[7 段階] `sendmail` を起動させる。

Solaris の場合

```
/etc/init.d/sendmail start [Enter]
```

RedHat Linux の場合

```
/etc/rc.d/init.d/sendmail start [Enter]
```

[8 段階] `/etc/inetd.conf` と `/etc/services` ファイルに次の事項を登録する。

1) `/etc/inetd.conf` ファイルに登録する内容

Solaris の場合

```
pop-3 stream tcp nowait root /usr/sbin/mspop3d mspop3d
```

RedHat Linux の場合

```
pop-3 stream tcp nowait root /usr/sbin/tcpd mspop3d
```

2) /etc/services ファイルに登録する内容

```
mspassd      106/tcp      # atmessage-5.0 TCP/IP Account-Configuration
pop-3        110/tcp      # atmessage-5.01 Pop3 server
```

3) inetd デーモンを再起動する。

RedHat Linux の場合

```
ps -ax | grep inetd    [Enter]
263 ? S    0:00 inetd
```

Solaris の場合

```
ps -ef | grep inetd    [Enter]
root  263      1  0 15:38:15 ?          0:00 /usr/sbin/inetd -s
```

上記で取得した「263」を元に、次の様に入力すれば inetd プロセスがもう一度立ち上がります。

```
kill -HUP 263    [Enter]
```

そして、**起動すると同時に** pop3 サーバーが作動します。次の様に telnet 命令を利用し 110 番のポートに接続してみることでテストができます。

```
telnet localhost 110    [Enter]
```

110 番ポートは、/etc/services ファイルに明示した様に POP3 サーバーのサービスポートを意味する。このポートを Outlook Express や Netscape Messenger で利用する場合、telnet のテストでは次の様なメッセージが出れば利用可能となります。

```
+OK @MESSAGE POP3 Server at mail.3rsoft.com starting...
```

実際にきちんと作動するかチェックするには、Outlook Express のアカウントに登録しチェックする事も出来ませんが、それよりも Low level で試してみる事がより確実です。もし、ID が sysop でパスワードが test である場合、次の様に試してみる事をお勧めします。

```
# telnet localhost 110
Trying 127.0.0.1...
Connected to localhost.
Escape character is '^]'.
+OK @MESSAGE POP3 Server at mail.3rsoft.com starting...
user sysop
+OK password required for sysop.
pass test
+OK sysop has 0 messages (0 octets).
```

<= 問題なく接続された場合は、+OK の結果値と共にログインユーザーsysop のメッセージ数が表示されます。

5.4 @MESSAGE のアップグレード事項

1. ログインインフォメーション

1.1 新着のメール情報

受信メールトレイ、個人メールトレイへ着いたメールの情報を知らせてくれる

1.2 今日の日程

今日の日程を表示

1.3 お知らせ

最新の五つのお知らせ事項を表示

1.4 ログインユーザーの情報

最近 5 分間ログインしたユーザーのリストを見せてくれる

ログインユーザーの個人情報の提供と Memo やメールまで送れる

ログイン時間、回数、利用された IP への情報を提供

1.5 メールボックスの情報

自分に割り当てられたメールボックスのサイズ、使用量、余裕量を表示

2. メールの作成・送信

2.1 Wysiwyg HTML の編集機能

2.2 送信メールへの文字セットの指定

2.3 予約発信

3. メールの受信

3.1 迷惑メールの登録

3.2 日韓翻訳 (Option Pack)

日韓翻訳の手動実行

環境の設定で日韓翻訳の自動実行機能を選択しておくことで着信メールに対し自動的に翻訳を行う

3.3 着信メールへの返事

送信者、受信者、参照人に指定された人への一括的な返事機能

3.4 添付ファイル

添付ファイルに対する提供情報の強化

Anti-virus 機能 (Option Pack)

Template として処理

添付ファイルを個人フォルダへ Copy する機能

4. アドレス帳

4.1 アドレスのインデックス機能

4.2 電子メールとグループのアドレス帳分離機能

5. スケジューラ

5.1 日間、週間、月間スケジューラの管理

5.2 日程の検索

5.3 旧日程の削除機能

5.4 Calendar 提示機能

6. 個人ファイルの管理

6.1 多段階フォルダの生成機能

6.2 ディレクトリー、ファイルの移動、コピーの機能

6.3 ディレクトリー、ファイルの検索機能

6.4 ファイル名、サイズ、日字などの分類機能

6.5 ファイルトレイのサイズ、余裕量の表示機能

6.6 ダウンロード、ファイル登録時の Anti-virus 機能 (Option Pack)

6.7 ファイル名、ディレクトリー名の修正機能

7. 環境の設定

7.1 SMS の設定機能 (Option Pack)

- SMS サーバーの設置 (Option Pack) の場合、新着のメール受信時に自動で携帯電話などへ新着メールの情報を送信
- メールの送信者、件名を表示
- SMS サービス実施が選択可能
- SMS サービスの実施時間帯が選択可能

7.2 電子メールの伝送機能

- メール送信時、送信者のアドレス欄に含まれる名前を設定する機能
- 個人情報にて入力した名前が自動的に指定される

7.3 メール作成時使用する、基本文字セットの指定機能

- 日本語 (iso-2022-jp), 英語 (iso-8859-1), 韓国語 (euc-kr), 中国語 (Simplified Chinese: GB2312)

7.4 日韓翻訳の自動的実行の設定機能 (Option Pack)

- 日本語または韓国語のメール確認時自動的に翻訳の実行

7.5 転送されたメールをコピーしてサーバーに保管する

- 転送されたメールを削除せず、サーバーに保管する
- 複数メールアカウントを使う場合、どこへ転送したメールでも再確認できる
- 携帯電話 (i-mode 等) へ転送されたメールを MailStudio で再確認できる

7.6 新着メールチェック時間の設定

- 新着メールチェック時間の設定
- メールの新着時にはブラウザの下段にその内容が表示される
- 20 秒以上からの設定で、秒単位での指定が可能

7.7 添付ファイル数の設定

- メール作成時や、掲示版への掲示、個人ファイルの管理における添付ファイル数を設定

7.8 メールを受信確認の設定

- メールの発信時、受信確認機能を使用するかどうかを設定

7.9 メール削除オプション機能

- メールをそのまま捨てるか、それともトレイに保管するかを設定

8. メールトレイの管理

- トレイの名前、サイズ、新着メールの数、保管中のメール総数等の分類機能
- トレイの検索機能
- テンプレートで実行されるトレイの修正機能

9. 迷惑メールの遮断機能

- 広告メールとか避けたい迷惑メールに対し、E-mail のアドレスやドメイン名を指定す

ることにより迷惑メールの遮断が可能

9.1 E-mail のアドレスやドメイン名単位の遮断機能

9.2 メール確認のメニューで遮断したいメールアドレスの追加

10. 留守番の設定機能

届いたメールは以前どおり保管され予め登録されている留守番メモがメール送信者に対し自動的に返信されます。また、これらの設定は期間、時間を指定することが可能です。

10.1 留守番機能の設定

10.2 期間の設定

10.3 メモの入力

10.4 留守番機能の解除

11. マルチ掲示板

掲示板へのアクセス権限の設定機能、掲示板の副管理者の指定機能、各掲示板別新しく登録された掲示物の数などをチェック出来るモニタリング機能、各掲示板別 Template の指定機能の提供による多彩な目的での掲示板の運営を支援する。

11.1 掲示板の管理機能

掲示板の名前、管理者の ID、新しく登録された掲示物の数、登録された掲示者の総数等の管理機能

掲示板の名前、副管理者の ID 等への検索機能

掲示板の確認、作成などの権限の設定機能(全て、加入者、CUG, 管理者)

掲示板の副管理者の指定機能

各掲示板のテンプレート指定機能

12. 掲示板の Listing 機能

@MESSAGE メニューのディレクトリーに掲示板フォルダを通じた掲示板の Listing 機能

13. ユーザー管理

13.1 接続時間、接続回数のチェック機能

13.2 接続時間

13.3 接続回数

14. ユーザー登録、加入申請のメニュー

重複 ID のチェックに対するテンプレートの処理

15. 管理者の環境設定

15.1 加入時、個人番号などの確認機能

15.2 ユーザーのメールエンコーディングの初期設定機能

15.3 SMS サーバー設定機能

SMS サービス実施設定

サーバー名、ポート設定

SMS サーバーの状態モニタリング機能

15.4 加入歓迎メッセージ機能の強化

加入者の属性に応じて異なる歓迎メッセージを送信する機能（各テンプレート単位で処理するかどうかを設定）

15.5 管理者署名の機能の強化

加入者の属性に応じて異なる管理者署名を送信する機能（各テンプレート単位で処理するかどうかを設定）

16. SMTP サーバーの管理者

SMTP サーバーの数を限りなく指定できる機能

指定した中で一番素早く応答した SMTP サーバーを発信サーバーとして用いる

SMTP サーバーの追加、削除機能

17. Storage Manager(エンタープライズバージョンのみ適用)

17.1 Storage 管理

17.2 Storage Load Balancing 機能

5.5 MailStudio2000 Plus(v3.0)のアップグレード事項

1.1 大容量のメール処理機能

- 分散されたメールサーバーとクラスタリングサーバーで最適な性能を発揮できるよう設計
- ユーザー DB と連動した大容量 POP3 サーバー機能
- MailStudio エンタープライズ メーラーの提供
 - ユーザーID 管理で既存の Unix/Linux の passwd ファイルと shadow ファイルを使わず

にすべてのユーザーID とパスワードを DB で管理（ユーザー登録、訂正、削除時の速度向上）

1.2 メール一時保管機能

- メールを作成していて急に別の作業をしなければならない場合、作成中のメールを一時保管する機能
- 一時保管されたメールは下書きに保存され、そこで件名をクリックすれば再度作成できる
- 下書きから再度作成し送信されたメールは下書きから削除される

1.3 複数メール送信機能

- 複数のメールを一度に送信する時に使用する機能
- 特定の人に該当主題に合ったメールを一括して送信する時有用に使用できる

1.4 着信確認機能

- MailStudio でメールを送信した時、受取人がメッセージを読んだ時間をユーザーが確認できる機能
- MailStudio のようなウェブベースメールや、Outlook Express、Netscape Messenger の使用者に限り受信確認機能が適用される

1.5 テンプレート 4 バージョン適用

1.6 メールボックス整理機能(メールフィルタリング)

- メールボックス整理についての規則設定を行うことにより、該当規則に当たるメールを自動で指定したメールボックスに保存する機能
- 特定のユーザー宛てのメールや特定件名のメールに対して有用に使える

1.7 メール管理方式を DB で整理

- メールに対してすべての情報をコードベース DB で管理し、メールに対して個別に保存する
- メール検索、移動、削除時に数千通のメールでも数秒内で処理できる

1.8 複数フィールドでのメール検索機能

- メール之差出人、受取人、件名、本文で検索する機能
- 検索事項は OR 演算子を適用し検索することで複数項目がチェックされていても該当項目に検索語があれば無条件に検索される
- 本文検索機能はコードベースの超高速検索エンジンを利用することで数千通のメール本文を数秒内に検索する

1.9 ユーザー情報表示機能

- 特定ユーザーの個人情報を表示する機能
- ユーザーが個人情報を公開した場合にだけ表示できる

1.10 SMS(Short Message Service) サーバー機能

- SMS Intelligent Server を設置すれば MailStudio Enterprise Mailer がメールの受信を自動で SMS サーバーに接続し携帯電話や文字が表示できるポケベルに差出人のアドレスと件名を送信する

1.11 メール処理速度が 30% 向上

- MIME 処理エンジンの最適化

1.12 加入時の歓迎メール送信機能

- 運営者が作成しておいた加入歓迎メールをユーザーの加入時に自動で送信する機能

1.13 加入処理時の重複 ID チェック機能

- すでに使用されている ID があるかをチェックする機能

5.6 MailStudio v2.0 からのアップグレード事項

1.1. 掲示板機能の強化

- ファイルのアップロード/ダウンロード機能
- 掲示物多段スレッド機能(5 段まで支援)
- 掲示物の見方変更
- 掲示物多重フィールド検索機能(件名、本文、名前に関する OR 検索機能)
- @MESSAGE 接続時、匿名掲示板から認証掲示板へ自動変換

1.2. ユーザー検索機能

- ユーザー名と ID 検索機能
- ユーザー検索を通じてのメールの作成、メモ伝達機能
- ユーザーの接続時間と接続終了時間がわかる機能
- 各項目別の降順/昇順のソート機能

1.3. メモ伝達機能

- 特定 ID にメモを残す機能

- メモ受信時、自動的にメモが現れる機能の提供

1.4. ユーザー情報機能の強化

- **個人番号項目**
大学や会社で認証 DB を通じ指定されたユーザーのみ加入を許可する場合や、重複登録を防止する目的で使われるフィールド
- **接続回数項目**
ユーザーの@MESSAGE 接続回数のチェックに使われるフィールド
- **最終接続 IP 項目**
不意の事故で自分の ID がハッキングされた場合、最後接続 IP を参考として使用するフィールド (誰が、どこから接続したのかを知ることのできる最小限の根拠資料)
- **接続時間項目**
@MESSAGE に接続した時間を保存するのに使われるフィールド (今後運営者はこのフィールドを通じて、指定された期間に誰が接続したのか接続しなかったのかをチェックできる)
- **接続終了時間項目**
@MESSAGE の接続終了時間の保存に使われるフィールド

1.5. 管理者環境設定機能強化

- **添付ファイルの大きさの制限**
添付ファイルが大きい場合アップロード時間や送信時間、そしてシステム負荷等に大きな影響を与えるので、該当サイトから送れるファイルの大きさを制限するのに使われる機能
- **添付ファイル制限個数**
添付ファイルがあまりにも多い場合システムに多くの負荷がかかるため、添付ファイルの個数を制限するのに使われる機能
- **管理者署名**
正式版の製品である場合、サイト管理者が自分のサイトから送るウェブメールに対して最後の行に自社の広報文を入れることのできる機能

1.6. 画面インターフェイスをテンプレート 3 で基本提供

1.7. 新しいテンプレート追加事項

- **掲示板テンプレート変更事項**
掲示物のデザインが変更されたため t_board_view.html テンプレートが削除され、次のテンプレートが追加された
t_board_frame.html - 掲示物を見るためのフレームテンプレート
t_board_hdrinfo.html - 掲示物を見るためのヘッダーテンプレート

- t_board_body.html - 掲示物を見るための本文テンプレート
- t_board_button.html - 掲示物を見るためのボタンテンプレート
- ログアウトの時に現れるメッセージに関するテンプレート
- t_logout_message.html

1.8. 加入時の歓迎メッセージ自動発送機能

- ユーザーが正式に@MESSAGE に加入が認められたとき、運営者があらかじめ作成しておいた歓迎メールを送信する機能

1.9. グループアドレス帳管理及び発送機能

- 管理者の環境設定による一度に送ることのできるメール数制限
- マスターアドレス帳を利用した便利なグループ設定機能
- グループの中に、別のグループを含めることのできる機能
- グループ指定の後、メールの作成をする時アドレス帳に入力された名前も一緒に入れることのできる機能
- 多様な検索/ソート機能

1.10. 完璧なメール保護機能

- ディスク容量が足りない場合、これを運営者に知らせメールの受信、移動、発送機能を一時的に中止し、メールに異常をきたす現象を事前に防止するメールガード機能

1.11. 未読メール/重要度ソート機能

- メールボックスの中に未読メールがいくつかある場合、そのメールを昇順/降順に並べる機能
- 優先度を昇順/降順に集めて表示する機能（昇順に並べる場合、重要度が高いものから並べられる）

1.12. ユーザーオプション設定

- メールの確認 / メモ確認時間の設定機能(20 秒以上から：変更可能)

1.13. 日本語文字の支援(ISO2022JP、EUC-JP、SHIFT-JIS)

- メール受信時の日本語文字の表示を支援

1.14. 管理者がウェブ上でのセットアップ時、設定したいいくつかの値を修正できる機能

5.7 MailStudio v5.0 からのアップグレード事項

1.1. 日本語処理エンジン強化

- Encoding / Decoding トラブル解消

1.2. 安定性の強化

- コードベース DB におけるエラー事項をログファイルとして自動記録・検出及び自動リカバリー機能追加(ログファイルの記録は基本提供、エラー検出及び自動リカバリー機能はオプションとして提供)

1.3. スピードアップ

- 不要な DB オープンと API の呼び出しをおさえシステムレスポンスを向上

1.4. 掲示板機能強化

- 新掲示物の表示機能

1.5. MMS(Mobile Messaging Service、モバイル・メッセ-ジング・サービス)機能追加

- メールサーバーで受信したメールを i-Mode などの携帯電話や PDA などの携帯端末機に転送する機能

製品の問い合わせ及び購入先



〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-1 アパライトビル 8 階

TEL: 03-5330-8851

FAX: 03-5330-8853

E-mail : support-jp@jp.3rsoft.com